

FRONTIER



No.50
2017/2/10



写真：いいね！Hokudai より提供

Contents

- ・2017 新年交礼会／クリスマスパーティ2016
- ・フロンティア50号記念 歴代編集長座談会
- ・グローバル同窓生〈寄稿〉
「欧州でのマネジメント経験から」「JICAモンゴル事務所」
- ・職場奮戦記〈寄稿〉「南の島の公務員」

表紙の写真 写真提供:北海道大学CoSTEPが運営する「いいね!Hokudai」
上段:期間限定のクラークシアタースタッフ、下段:センター試験会場を案内する恵迪寮生

2017年 東京同窓会 新年交礼会 大場亮佑	4
年頭のごあいさつ 杉江和男	6
クリスマスパーティ in HANEDA 2016 橋本大志	8
風景との対話「生物のスケッチと絵のスケッチ」 樋口正毅	10
フロンティア50号記念・歴代編集長座談会 川添公貴	12
北海道大学ホームカミングデー2016	
—第5回ホームカミングデーを終えて— 北海道大学総務企画部広報課	16
北大法学部・経済学部 合同東京同窓会 開催 藤井孝先	26
第12回北大・九大 合同活動報告会	
「九大・北大から世界へ 大学発ベンチャーの挑戦」 北海道大学研究推進部研究振興企画課	28
エルム談話室 平成28年7月～12月 清水慧	30
グローバル同窓生 「欧州でのマネジメント経験から」 森林正彰	34
「私とモンゴル」 佐藤睦	36
職場奮戦記 「南の島の公務員」 松岡由紀	38
北大の研究者たち 「氷河の変動を研究する」 山本淳博	40
「校友会エルム」現状報告 校友会エルム事務局長 小泉信隆	42
主要大学における校友会等の最新動向〈中編〉 伊藤洋	44
多磨霊園墓参 クラーク遺徳顕彰・墓参委員会 平田更一	51
北海道大学陸上競技部 東京OB会(東京羊蹄会) 片桐牧雄	52
4コマ漫画 歳亜久人の北大あるある 高野葵	54
北大OG会活動報告 「マイフェアレディの世界リターンズ2016」を開催 中根里香	55
北海道の蝶 第5回「蝶たちの冬越し」 永盛俊行	56
名刺広告	58
新入会員／総会・講演会・懇親会のお知らせ	62
北海道大学の近況(2016年夏～) 北海道大学総務部広報課	64
入会申込書	69
<お知らせ>東京ジンパ2017	70
北海道の花 「サクラソウ」 鮫島惇一郎	72

想像から、創造へ。



次世代を支えるキーマテリアルとして
無限の可能性を秘めたアルミニウム。
私たち日本軽金属の自由なイマジネーションが
アルミニウムの新しい扉を開いていきます。

2017年 東京同窓会 新年交礼会



総務委員会 大場亮佑 (H20経済)

日時：平成29年1月13日(金)18時半～21時
会場：恵比寿ピアステーション

2017年1月13日(金)、毎年恒例の東京同窓会「新年交礼会」がピアステーション恵比寿ガーデンプレイスにて開催され、今年は総勢82名の方にご参加いただきました。当日夜は全国的な寒波に見舞われる中、会場は新たな年の門出を祝う温かい雰囲気にもまれ盛大で楽しい宴を楽しむことが出来ました。

本年、年男を迎えられた杉江東京同窓会会長より、冒頭のご挨拶の中で、昨年の英国におけるEU離脱の是非を問う国民投票、米国における大統領選挙結果に見る保護主義的傾向の強まりについての言及がありました。

米国の政策に世界が注目する一方、今年も欧州やアジアで大きな政治イベントを控えており、今後の世界情勢と経済への影響に一層アンテナを張り巡らせ注視する意を強く致しました。

続いて、北海道大学総合博物館の小林快次准教授による特別講演です。昨年のホームカミングデーで小林准教授による恐竜研究に関する講演『恐竜研究最前線 北海道大学が恐竜研究で大活躍！』に魅了された大野総務委員長が、その場で本年の交礼会での講演を依頼。小林准教授より快諾していただき、このたびの講演となりました。

今回の講演では、北海道大学が世界に於ける恐竜研究の中心にあること、またアラスカ、モンゴル、北海道での発掘調査とその調査時の生活ぶりについて写真を交えながら解説していただき、最後は、恐竜の絶滅の背景から今後の地球と人類の行く末について考察いただきました。新年よりアカデミックな講演を拝聴出来ることも同窓会の一つの楽しみであります。

講演後の懇親会は、石川東京同窓会副会長の乾杯のご発声によりスタート。和やかな宴の折、各委員長からは新年の抱負と今後の同窓会発展への所信が述べられた後、当日の若手参加者を代表し、長山唯さん(H25医学部保健学科卒)、徐啓楠さん(H26法学研究科卒)からフレッシュなスピーチがありました。

世代と学部を超えて親睦を深めた楽しい時間は過ぎ、中締めを松沢東京同窓会副会長にいただきました。締めは、坂倉雅夫先輩(S48農卒)の前口上により参加者全員で肩を組み「都ぞ弥生」の合唱。今年も「新年交礼会」をきっかけに新たな出会いが生まれ、また一つ同窓生の縁が広がりました。その縁を「西(とり)」込み2017年も東京同窓会が益々発展する事を確信した「新年交礼会」は無事お開きとなりました。

小林准教授講演会



講演される小林准教授

■小林快次准教授プロフィール
恐竜学者 1971年福井県出身
米国ワイオミング大学地質学地球物理学科卒業。米国サンメンソジスト大学地球科学科で博士号取得。
現在、北海道大学総合博物館准教授、大阪大学総合学術博物館招聘准教授。新たな恐竜化石を探して、世界各地を飛び回っている。
2015年9月のNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」にも出演。



アラスカ州デナリ国立公園



講演会の様子



ゴビ砂漠の国際共同発掘調査



モンゴルのゴビ砂漠



松沢幸一副会長 (S48農・院)



石川裕一副会長 (S54法)



杉江和男会長 (S45工応化・院)

若手参加者のスピーチ

(感想を一言)関東に出てきて1年目、同級生からのお誘いで参加しました。今回が初めてだったので、また機会があったら参加したいです!



長山唯さん



徐啓楠さん



参加者全員で「都ぞ弥生」大合唱/ゲストの小林准教授を囲んで



年頭のごあいさつ



北海道大学東京同窓会 杉江 和男 会長

皆さま、新年明けましておめでとうございます。東京同窓会の会長の杉江でございます。本日は新年交礼会にご出席いただきどうもありがとうございます。

さて最近の話題といえば、昨年の11月にアメリカ大統領にトランプさんが選ばれて、いろいろ物議を醸していることかと思えます。トランプさんが選ばれることはほとんどの方が予想していませんでした。たわいで、イギリスに続きアメリカも保護主義的になっていくことで、これからの世界がどのようになっていくかが心配です。

トランプさんは、メキシコ等からの移民がアメリカに入っていることでアメリカ人の仕事が奪われるとか、メキシコ、中国、日本からの輸入品が入ってくることでアメリカ人の仕事がなくなってきたりすることを問題にしています。では、給料の安い移民をアメリカから追い出してアメリカ人が労働者になった場合、アメリカの製造業は成り立つのでしょうか？

製造業はどんどんアメリカから海外に移り、モノを作る力が落ちてきているわけですから、その労働者を外国人の移民からアメリカ人に変えても、状況がよくなることはないと思います。しかも、製造コストが高くなるので、この政策を進めることは長期的には、アメリカ経済の活性化にはならないと新聞も伝えています。

アメリカや先進国が抱えている大きな問題というのは、経済的な格差ではないかと思えます。インターネットなどで調べますと、アメリカの一般労働者の半分は、年収300万円以下で働いている現実があり、一方で例えばビル・ゲイツさんの資産は5兆円から6兆円位だと言われています。

また、アメリカのトップ500社のCEOの平均年収は14億円とも言われ、アメリカの一般労働者の賃金の300倍から400倍です。こういう格差が広がってきていることへの不満が、アメリカ大統領選挙に現れたのでしょうか。

資本主義経済は統制された中でうまく行くものですが、昨今は金融資本主義になり、拝金主義の資本主義経済になっていることで、資本主義経済の悪い面が露呈していると思えます。報酬の多い企業や報酬の多い人々が社会に再分配していかないと、不満だけがたまってしまっていることが、今の世界の状況だと思えます。

また、凄いと感じてしまうことは、トランプさんがSNSでつぶやいたことが、まるで政策のようにアメリカや世界中に広まることです。フォードやクライスラーの社長がそれに反応して海外に工場を作るのをやめると表明するなどの現象を見ると、アメリカの経営者も大したことがないときえ感じてしまいます(笑)。

アメリカが製造業を取り戻すのなら、政治としてもそれなりに技術レベルを上げるための取り組みが求められると思えます。そういう意味で、これから実施されるヨーロッパ各国の選挙には注視していきたいと思えます。

それから、SNSに関して気に留めておきたいことは、現在のIoT技術をわたしたちの仕事に活かしていくために、SNSをどのように利用するかと言うことです。これまでは企業対企業、BtoBで仕事をしてきたことが、今で

はBtoBになってきていると思っております。いわゆる、消費者の声がモノを作るとか、サービスに消費者の声を反映していかなければ販売はできない、といった時代になっていくと思えます。

とはいえ、消費者の声は非常に膨大で、この膨大なデータをすべて製造業やサービス産業が取り上げることは不可能なので、ある程度グループ化していく必要があると思えます。

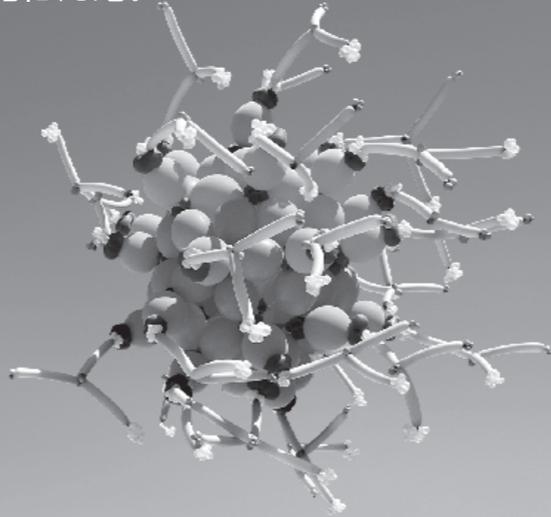
そのグループ化する基準によって、繁栄する企業と衰退する企業の違いが生じると思うのですが、これからは健康とか文化などの人間が幸せになる価値を基準に置いたモノやサービスが繁栄するのではないのでしょうか。

そういう観点では、例えばおもてなしの気持ちとか製品の改良技術など、日本人の強みを生かせる時代になるものと前向きに捉えています。日本は生産性が低いとか、イノベーションが低いなどと言われていますが、これからは日本が本当に世界の先頭に立っている時代になりつつあると感じています。

最後になりますが、今年も北大や北大生の支援をしながら、お互いに助け合って過ごす、いい1年になりたいと思っております。どうもありがとうございます。

あるはずがない
を超えたところに、ある。

これまで存在しなかった
新薬をつくり出すまでの道のりは、
膨大な実験の積み重ねを支えられている。
だが どの道を進むのかという
「アブローチの発見」においては、
ユニークな発想とアイデアが、求められる。
常識の枠にとらわれず、
かつてないアブローチをとったものだけが、
あるはずがないと思われていた成果を生み出す。



創薬は、クリエイティブ。

すべての革新は患者さんのために
創造で、想像を超える。
CHUGAI 中外製薬
Roche ロシュグループ

土から海へ。海から空へ。

1933年の創業以来、わたしたち TSUCHIYA は
建物の企画設計から施工までをトータルで行う
建設業を中心に、土壌汚染の改良技術などの環境事業にも
積極的に取り組んできました。
さらに日本企業の海外進出を支援するため、
現地での建設サポートにも力を注いできました。
そして今、TSUCHIYA が挑戦するのは航空事業です。
より利便性の高い航空サービスの実現に向けて、
邁進していきます。

「土」から「海」へ。「海」から「空」へ。
地球的な視野でお客さまと社会の発展に貢献するという
わたしたちの志はこれからも大きく広がっていきます。

土や人が築く未来。
TSUCHIYA 株式会社



本社/本店 〒503-0917 岐阜県大垣市神田町2丁目55番地 TEL0584-81-5111 (代表) / 東京本社/支社 〒135-0016 東京都江東区東陽2丁目2番4号/支社:名古屋・関西/支店:北海道・東北・横浜・三重・北陸・神戸・中国・九州・沖縄/営業所:西東京・静岡・春日井・岐阜・滋賀/海外拠点:香港・インドネシア・アメリカ・ハワイ・ハンガリー・オーストリア・ルーマニア・シンガポール・マレーシア・ベトナム・カンボジア・韓国



2017

クリスマスパーティー in HANEDA Merry Christmas



日時：平成28年12月10日(土)
1次会16:00~18:00
2次会18:30~20:00
会場：羽田空港第1ターミナル6F
ギャラクシーホール

組織委員長から



クリスマスパーティー実行
委員長・組織委員長
足立直子(H2工・電子)

クリスマスパーティーは若い世代の同窓生を対象にした組織委員会のイベントの一つです。クリスマスパーティー実行委員も若手メンバーが主役になり、イベントの半年前から仕事後サピアタワーに集まり、時にはビール片手に企画に盛り上がります。そしてパーティー当日。老若男女、沢山の同窓生との再会に会話は途切れることなく楽しい時間はあっという間に過ぎます。最近SNSを見て参加した同窓生も増え、新しい出会いを大切に、北大同窓会の輪を広げていきたいと思っています。

司会者を務めて

★彭秀実さん
クリパの司会者を務められるとはまったく想像ができませんでした



クリスマスパーティー実行委員会の皆さん



司会の彭秀実さんと多田宗広さん

が、素晴らしい経験ができたと思います。司会の中では、緊張しすぎて日本語を囁んだり、単語の発音を忘れたりしましたが、多田さんのフォロワーのお陰で何とか無事にやり切れました。
裏でサポートしてくださった実行委員会のメンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしく願っています。
★多田宗広さん
司会を務めさせていただきましたH26情報院卒の多田と申します。山口北大総長をはじめ、多くの先輩方の前で司会をする貴重な機会をいただき、緊張しながらも楽しく過ごす事が出来ました。このような役割を若手に任せるのが東京同窓会の伝統だと思えますが、実行委員の方々の支援があつての事だと思えます。今後このような機会を活かしていきたいよう努力して参ります。



石山喬
北大校友会エルム会長



山口佳三
北海道大学総長



小坂達朗
北大東京同窓会副会長

2016年のクリスマスパーティーは12月10日(土)、羽田空港の夜景が綺麗な第1ターミナルのギャラクシーホールで開催しました。1次会105名、2次会53名と今回も大盛況の賑わいでした。
小坂達朗副会長、山口佳三北大総長のご挨拶に続き、北大校友会エルム・石山喬会長の乾杯のご発声で開宴。今年の司会は、彭秀実さん(H24文)と多田宗広さん(H26工・情報院)です。
懇親で盛り上がった最中、北大交響楽団OB・OGによる「エルムの鐘交響楽団」の四重奏の披露があり、クリスマスの雰囲気が一層盛り上がりました。
楽しい時間はあっという間に過ぎ、1次会の締めは、恵迪寮OBの坂倉雅夫さんの前口上で、全員が「都ぞ弥生」を合唱し、恒例の記念撮影を行いました。
昨年続き、今年もクリスマスパーティー前にオプショナルツアー(30名限定)を実施。日頃は見られない、大型航空機の整備が行われている格納庫内、スカイミュージアムや羽田空港内をたっぷり探検していただき、参加者は存分に楽しんでもらえたと思います。
最後に、乾杯用に使わせていただいたシャンペンやボジョレーヌーボーなど、次の方々からプレゼントを協賛していただきました。この場を借りて深く御礼申し上げます。



■羽田空港オプショナルツアー
東京モノレール・新整備場駅に集合し、クリスマスパーティー開始までの間、羽田空港内の飛行機格納庫、航空ミュージアム(展示、誘導路近くの飛行機ウォッチングなど、約2時間半かけて羽田空港を探検。



クリスマスパーティー実行委員
羽田空港探検隊長
橋本大志(H1理学部)

理想のイメージを
形へ創り上げる。

商業施設などプロパティマネージメントをはじめインテ
リアデザイン、企画、設計、施工を手掛ける札幌の企業
です。

株式会社コーシンプランニング
代表取締役 片岡 幸三
〒062-0935 札幌市豊平区平岸5条9丁目6番24号
TEL 011-841-5588 FAX 011-841-5599
http://www.koshin-pl.co.jp

東京基準より北海道基準、北の夢。

☆ ぷらう

代表取締役社長 石川 裕一

株式会社 ぷらう

〒060-0063

北海道札幌市中央区南三条西4丁目12-1 アルシュビル8階

TEL : 011-219-2223 FAX : 011-219-2885

風景との対話

「生物のスケッチと
絵のスケッチ」

樋口正毅
(S35・水・増殖)



水産増殖を専攻した私は、40余年ただひたすら魚の産卵孵化と稚魚の飼育に携わって来た。したがって卵発生や稚魚の形態変化は嫌と言うほどスケッチして来た。学生時代には、水産動物実験で北方の魚や磯の生物のスケッチを描かされ、学友が4時間も5時間もかかってやっと一枚仕上げるの

に、私は30分ほどで描き上げ提出し、教授に「君のは絵であってスケッチではないヨ」と叱られたものだ。生物のスケッチとは、魚の鱗・刺の数は勿論のこと、鱗の数や体長・体高まで実物と寸分違わないように点と線だけで描き、体模様や濃淡は点の密度で表し、丸ペンで墨入れしたものを指し、これらに色を付けるなどもつての他に教えられて来た。即ちスケッチに求められているのは、芸術ではなくて正確にその姿を表す事なのだ。当初私が提出していたのは、デッサンのように線を何重にも描き、鱗も線で表し、体模様は黒く塗りつぶした絵画で言うところのスケッチであった。

大学を終えて燧灘の小島に設立されたばかりの瀬戸内海栽培漁業センターに赴任した。そこで海の資源を増やそうと重要魚類の人口種苗生産を続けることになった。島で取り組んだキジハタの種苗生産の実績が認められ、中近東の「小さな巨人」



と呼ばれた世界一金持ちの国クウェート国からお呼びが掛かり、1975年からクウェート総合科学研究所でヒトミハタの種苗生産に関する事になり此処で6年ほど研究に没頭した。その後アジア開発銀行に勤務することになり、タイのバンコクに3年、フィリピンのマニラで定年までの11年間暮らした。

海外滞在中に私的に或いは公的に40余国を訪ねる機会に恵まれた。殊に仕事では東南アジア、南太平洋の国々を担当し電気も水道も無いような辺鄙な漁村に数週間滞在したり、未だ首狩り族が現存すると言われるセビック川上流(パプアニューギニア)の小さな村に数日間滞在し漁業調査をしたこともあった。

南国の真つ青な空に映えた紺碧の海は、青く澄んだサファイアの如きで実に美しい。日本とは一味違った異国の風景や海の碧さに魅かれ、写真を主体に随分と資料を集める事が出来た。帰国後東京黒百合会の仲間に加えて頂き絵を描くようになって、無意識のうち細部にこだわり過ぎる事が俾ある。そうした職業病を出来るだけ排除して、持ち帰った資料をモチーフ(題材)に、その時の感動を少しでも絵に表現できるように、一作一作に精根こめて描き上げていくことに努めている。

一段目のスケッチは、タイ国バンガ湾の小さく貧しい水上漁村の風景である。スズキ(海産魚でバンコクのお寿司屋さんの材料として有名)の養殖指導で何度も訪れた所だが、断崖と漁村のコントラストが素晴らしく、今でも脳裏に強烈に焼き付いている。

もう一枚は世界で一番夜明けが早いと言われている国、キリバス共和国の風景。綺麗なホワイトサンドの砂浜と、青く透き通った海が印象的だ。平均海拔2メートルと言っ低い環境が多いために、近年の海面上昇で、2050年には首都タラワの8割が水没の危機にあるとされている。このスケッチの場所も近々水没の運命にあるかと思うと寂しい限りである。



第1号は平成9年4月15日に発行。写真
は在りし日の恵迪寮が表紙の第16号。

フロンティア50号記念・歴代編集長座談会

大切なのは面白いかどうか

日時：平成28年
12月4日(金)20時
場所：東京同窓会事務所

川添公貴
(S56工・応化)

歴史(概要)	
No.1	1997年4月15日 石川舜(教養36)編集長 フロンティアの名称で発行開始(年4回)
No.14	2001年 網谷隆司郎(法48)編集長に交代
No.17	2001年5月15日から年2回に変えた。 (毎日新聞で制作)
No.32	2008年2月10日 大西正夫(文46)・陣谷義 直(経51)体勢となる
No.41	2012年8月10日 川添公貴(工56)編集長
No.47	2015年8月20日 高橋寛(農62)編集長

笹田琢夫専務理事(法36)に相談し、理事会で承認いただき制作体制を切り替えました。実際のレイアウト作業は、粕山さん(※1)が担当してましたね。2007年のNo.31発行まで担当しました。大西・2008年2月の32号から編集長ですが、実態は陣谷さんにお任せでした。

陣谷・網谷さんから引き継いで編集長となって、年2回発行を継続しました。

川添・陣谷体勢で、発行月が2月と8月に固まっています。

網谷・一応、夏・冬だったかな。仕事の都合で、忙しかったら少し遅れるとか、そんな感じだった。

陣谷・編集長になってからは毎日新聞に何回行ったことか。夏と冬は土曜日になると地下鉄が横を走ってる地下の部屋に出かけて行って、粕山さんと缶詰で作業して帰るのが21時ですよ。そうやって、ようやく8月と2月の2回発行できていました。

川添・陣谷さんの代の最後の方から、編集委員が増え始めて、編

集部体勢に移行していきます。2012年の夏号から私が編集長となり、作り方はそのまま継承しています。

高橋・2015年の夏号から高橋が引き継ぎまして、形は変わりますが、編集は毎日新聞から広報副委員長の島田さんの会社に移っています。

網谷・同窓会の席で自己紹介することになった時に、当時サンデー毎日の制作をやっていたので、「毎日新聞で雑誌を作っています。雑誌づくりはお手のもんです。」と言ったら、その後笹田さんがやってきて「フロンティアの編集を手

集部体勢に移行していきます。2012年の夏号から私が編集長となり、作り方はそのまま継承しています。

高橋・2015年の夏号から高橋が引き継ぎまして、形は変わりますが、編集は毎日新聞から広報副委員長の島田さんの会社に移っています。

網谷・同窓会の席で自己紹介することになった時に、当時サンデー毎日の制作をやっていたので、「毎日新聞で雑誌を作っています。雑誌づくりはお手のもんです。」と言ったら、その後笹田さんがやってきて「フロンティアの編集を手



網谷さん

みなさんがご覧になっているフロンティアは、1997年に発行されてから約20年、50号を迎えました。節目となる号を発行するにあたり歴代の広報委員長が集まり、座談会を開催しました。担当した時期は違うものの同じ苦労をしたもの同士、尽きぬ話は予定した1時間を遥かに越えて延々3時間にも及び。「事より人」、「大切なのは面白いかどうか」など、フロンティア発行の原点を確認する貴重な機会となりました。

**歴史

網谷・私は当時サンデー毎日の編集制作をやっていた、フロンティア

「お手伝いくらいなら良いですよ」って言ったたら、編集長交代になっちゃった。編集長というから、何人かスタッフがいるのかと思ったら、誰もいないんだよ。一人でやるの。(笑)

しばらく涙ながらにやってたんだけど、同じフロアに実際の作業をやってくれる粕山さんがいたんですよとかなったんだね。

大西・私は、毎日新聞でエコノミスト編集長の玉置さん(※2)、文芸春秋の上野さん(※3)達とプレスセンターの地下クラブのラウンジで飲んでた時に、玉置さんに「必ずしも毎回来なくても良いから」と言われて2007年に網谷さんの後に編集長になりました。

陣谷・私は、2006年に、広報委員として網谷さんの下に入ってくれて勝手に決められたんですよ。で、2007年に網谷さんがいなくなると編集長になっちゃっ



大西さん

た。大西さんは読売新聞でメディア関係者ですが、私は経済学部で明治乳業だもん。アマチュアですよ。それが、出さなきゃいけなくなりました。大変ですよ。

川添・自分から手を挙げて広報委員をやったというのは、私くらいですね。2009年から広報で、陣谷さんの会社を訪ねて行った。毎日新聞にこもったりしてました。陣谷さんが評議員の任期満了で引退されたのを受けて委員長を引き継ぎましたが、委員長をやってみると、大学との繋がりができたり、記事を書いてもらうことで人脈が広がったので面白かったですね。

高橋・広報委員になったのは、そもそもはスキー部OB会東京支部長から「石山さん(※4)に連絡しろ」と言われて電話をしたら「陣谷さんのところに行ってくれ」、陣谷さんに連絡すると「有楽町の居酒屋に来い」、何をするか分からないまま、とりあえず居酒屋に行くので大西さん、陣谷さん、川添さん他が集まっています。目出たく広報委員になってました。すぐに「理事にしておいたから」、「副委員長だから」と、みなさんに決めていただきました。委員長はスタッフも充実してきたので引き受けました。この流れで、時々編集長は変わった方が良いので、次は



陣谷さん

島田さんをお願いしようと思っています。

**原稿の集め方

網谷・初代編集長の石川さんから編集長を命じられて、しばらくは石川さんもネタを持ってきてました。当初は、連載ものもあつたり、武士道講読会や、学者の方に書いていただいていたんですが、同じ人に書いてもらうことになることもあり、1年くらい経つてからは、雑誌作りのプロとしてもっと一般の人に面白く思ってもらえるような記事を作るようになりました。例えば17号では、若い女性が顔写真入りで8人登場して、見出しも「人見知り少女が宴会部長に」とか、「ミスヘルメットに変身」とか、人目を引くような紙面にしたものです。この方達に関しては、直接会って話をし、あとで原稿は書いてもらうという形で進めていました。基本的には、見栄えを良くして、無料ではあるけど

も買ってでも読んでもらえるような紙面を目指していました。

陣谷・私のリタイヤ人生」や「職場奮闘記」などの名物コーナーに書いてもらってました。さらに居酒屋で編集委員会をやった時に「家庭に入った女性も取り上げなきゃいかん」ということになり、「子育て奮闘記」というシリーズが立ち上がりました。でも書いてくれる人を知らない。結局、全部明治乳業の部下に書いてもらってましたね。

網谷・若い人に登場してもらうことは大事なのよ。年配の方達はテーマや時間もあるんで比較的原稿が集まりやすい。でも、幅広い年齢層にアピールするには若い人が登場することが大切ですね。実際に20台の女性に注目して記事を作ったことが何回かあります。

川添・一人編集部の時代が終わって、私の代になると当時の高橋副編集長が広報委員を集めてくれたおかげで次第に人が充実してきてました。またホームカミングデーが始まって大学との距離が近くなり、直接、先生や学生に原稿を依頼したりできるようになり、またインターネットでも情報が入ってくるようになりました。

高橋・49号の裏をみていただくと編集部に11人の名前が載っていて、女性が4人もいます。この人た



菅さんが私には一番魅力的な動物でした。」

網谷…小菅さんというのは人間的にも魅力的な人で、柔道部だったんですね。私が一年だけ恵迪寮にいた時の話をしたら話が合ったんですよ。

陣谷…先輩をつかまえて動物なんて書けないよ。それで表紙にペンギンの行列の写真の表紙でしょ。ジャーナリストってのはすごいなあと。小菅さんにはその後、総会の時に講演をやってもらって、

そのテープ起こしをやったんで、内容も声もよく覚えてます。

***これからのフロンティア

川添…インターネットが普及し、情報伝達は紙媒体から携帯端末に移って行っています。一方で、同窓会はなかなか人が集まらなくなってきた。昨年6月に校友会が立ち上がった中で、これからのフロンティアについてご意見を伺いたいと思います。

陣谷…インターネットに関しては、公開してるの？

川添…東京同窓会のWEBでPDFを公開しています。最新号は目次のみ。旧号は全ページを見る事ができます。

高橋…媒体に関しては、紙にはこだわって行きたいですね。私はスキー部で105年の伝統があるのですが、全日本学生スキー連盟の歴史は90年。その双方の全記録が紙に残っています。データがぶつ飛んでも紙は残る。また、これを理解できるのは北大のOBしかいないんで

だけ北海道の風景とかいいんだらうと思ってきました。大半は理学部の出身の内林克行というカメラマンがいて、北海道行った時に撮ってきたいと命令して撮ってきてもらった。

陣谷…このポプラ並木が倒れてるのは？

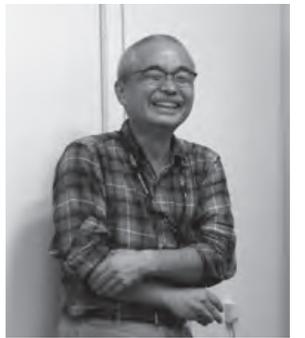
網谷…これは2004年の出来事です。編集後記に「この表紙は昨年の9月の台風で無惨にも倒れたポプラ並木です。北大生の心のオアシスで、母校をふっと思いつ時にすぐ浮かぶ場所でしょう。倒れても起き上がる。再び生き返る。その木魂を信じてあえて表紙にしました。北大広報部藤田正一先生のご協力です。」

川添…陣谷さんは、表紙を自分で撮りに行く編集長でしたよね。大野池とか流水とか、鈴木先生がノーベル賞を受賞されたときはむかわに行ったり。

陣谷…大野池は良くとれてるでしょう。北大野球部が神宮に行った時の表紙も良いでしょう。

川添…私は自分では撮れないので、北大の先生や写真部に提供をお願いしたり、いいね！ Hokudaiに掲載された写真を使わせてもらったりしました。

高橋…ジンパが始まってからは、夏号は集合写真を使っています。レイアウトの関係で一部カットさ



川添さん

ちが、知り合いから原稿を集めてきてくれるんですよ。だから、最近の登場人物はたぶんより中広くなっていると思います。同時に編集で力を発揮してくれるのがありがたいですね。

***実際の編集作業

網谷…私みたいにメディアにいた人間は、初山さんに「これとこれをお願いね。」って指示すると出て来る。これだからできていたんだけど、集まった原稿に全部目を通して、盛りつけるみたいなのがデスク作業は、確かに大変だと思うな。

陣谷…大変ですよ。確かに初山さんに原稿を渡して、レイアウトしてもらおうとちゃんと小見出しもつけて出て来るから助かったけど、小見出しが大事なんて初めて知ったくらいだったんだから。

大西…小見出しをつけるのは編集の大事な作業で、いただいた原稿の中には、論文のように、段落も改行もなしで1000文字なんて

もありますからね。読みやすくするには絶対必要ですね。

網谷…私なんかはいただいた読みにくい原稿があると、内容に変更がなければ、そっちの方が本人のためとか言って勝手に読みやすい原稿に直しちゃってました。

大西…私は、大学の先生の原稿を直す時に「私は新聞社出身なので、誰にもわかるということをもっとーにしており、学長から任されているという気持ちもありますので」というような言い訳を使っていました。

高橋…確かに、気を遣うことありますよね。ここまで直しちゃっていいのかなあなんて。

島田…編集というのは、そう言う意味で難しい部分がありますね。今は慣れてきてるのでなんとかやっていると、新たに加わったメンバーに編集経験者がいて、人が増えたことで同時に経験値も上がってずいぶんスムーズになってきました。

***表紙について

陣谷…網谷さんのころは、写真はどうしてたんですか？ 網谷さんが撮ってきたの？

網谷…私はサンデー毎日でも表紙担当をやったことがあって女優さんとかの人物で作ってたんだけど、フロンティアの表紙はできる

***裏表紙のこと

高橋…鮫島先生はいつ頃から始まったんですか？

網谷…美的センスからなんかあった方がよい。文章も少しあればというので、北海道の絵が書ける人を紹介してもらったのが先生で、今も継続してますね。

陣谷…裏のここを書ける人いないですよ。このシリーズを切り取ってまとめた本を出せるレベルですからね。

大西…雑誌では読者から、表・裏しっかり読ませてもらったという連絡がある。裏と編集後記があつて、これで良いんですよ。目次を読む前に、編集後記から読み始める人がいるんですよ。

網谷…この号をまとめた人が、どういう苦労があつて、どんな喜びがあつたのか10行くらいの短い文章をまず読みたいって人は結構います。

陣谷…編集後記と言えば、網谷さんのこれが好きなのよ。「旭川市に行きました。一番感動したのは人間たる小菅さんでした。閉園寸前から日本一の人気動物園に改革した大逆転ホームランを打った小



高橋さん

菅さんが私には一番魅力的な動物でした。」

網谷…小菅さんというのは人間的にも魅力的な人で、柔道部だったんですね。私が一年だけ恵迪寮にいた時の話をしたら話が合ったんですよ。

陣谷…先輩をつかまえて動物なんて書けないよ。それで表紙にペンギンの行列の写真の表紙でしょ。ジャーナリストってのはすごいなあと。小菅さんにはその後、総会の時に講演をやってもらって、

そのテープ起こしをやったんで、内容も声もよく覚えてます。

***これからのフロンティア

川添…インターネットが普及し、情報伝達は紙媒体から携帯端末に移って行っています。一方で、同窓会はなかなか人が集まらなくなってきた。昨年6月に校友会が立ち上がった中で、これからのフロンティアについてご意見を伺いたいと思います。

陣谷…インターネットに関しては、公開してるの？

川添…東京同窓会のWEBでPDFを公開しています。最新号は目次のみ。旧号は全ページを見る事ができます。

高橋…媒体に関しては、紙にはこだわって行きたいですね。私はスキー部で105年の伝統があるのですが、全日本学生スキー連盟の歴史は90年。その双方の全記録が紙に残っています。データがぶつ飛んでも紙は残る。また、これを理解できるのは北大のOBしかいないんで

だけ北海道の風景とかいいんだらうと思ってきました。大半は理学部の出身の内林克行というカメラマンがいて、北海道行った時に撮ってきたいと命令して撮ってきてもらった。

陣谷…このポプラ並木が倒れてるのは？

網谷…これは2004年の出来事です。編集後記に「この表紙は昨年の9月の台風で無惨にも倒れたポプラ並木です。北大生の心のオアシスで、母校をふっと思いつ時にすぐ浮かぶ場所でしょう。倒れても起き上がる。再び生き返る。その木魂を信じてあえて表紙にしました。北大広報部藤田正一先生のご協力です。」

川添…陣谷さんは、表紙を自分で撮りに行く編集長でしたよね。大野池とか流水とか、鈴木先生がノーベル賞を受賞されたときはむかわに行ったり。

陣谷…大野池は良くとれてるでしょう。北大野球部が神宮に行った時の表紙も良いでしょう。

川添…私は自分では撮れないので、北大の先生や写真部に提供をお願いしたり、いいね！ Hokudaiに掲載された写真を使わせてもらったりしました。

高橋…ジンパが始まってからは、夏号は集合写真を使っています。レイアウトの関係で一部カットさ

出す予定はなかった写真集を急遽出すことになった時、競技の記録もあるけどそれよりは一校一団運動ということで各国の応援をしてきた小中学校を全部掲載した。そして自分が出ているということ、みなさんに買っていただいたという経験があります。「同窓会会員全員登場！」自分が出ていれば関心を持って見るんですよ。編集部の人たちも増えたんだから企画をやつて、人数が増えた分だけ企画がでれば面白いと思う。これまでやってなかった新しいことがどんどん出てくれば、若い人たちも関心をもってくれるんじゃないかな。

川添…今後も「フロンティア」精神で新しいことに挑戦していただきたいと思います。本日はありがとうございました。

※1…初山浩 毎日新聞

※2…玉置和宏(文36)

※3…上野徹(法40)

※4…石山喬(工42)



本学の近況を報告する山口総長



歓迎の挨拶を述べる石山会長



講演する小林准教授



「都ぞ弥生」斉唱で参加者が一体となった会場

ホームカミングデーの全学行事として「歓迎式典・記念講演会」を行いました。

会場となったクラーク会館講堂が多くの同窓生や関係者で埋まるなか、北海道大学交響楽団の演奏四重奏による「都ぞ弥生」「永遠の幸」の演奏で式典は幕を開けました。

司会は本学経済学部卒業生である北海道放送株式会社（HBC）の船越ゆかりさんが務め、最初に、山口佳三総長が「進化する北海道大学」と題して本学の近況を報告し、「同窓生の皆様には本学の強力なサポーターになってい

たい」とのメッセージを伝えました。次に、石山喬北海道大校友会エール会長が歓迎の挨拶として、国立大学を取り巻く環境とともに、校友会エールの果たす役割や意義について話されました。

続いて、恐竜研究で世界を牽引する総合博物館の小林快次准教授が「恐竜研究最前線 北海道大学が恐竜研究で大活躍！」と題して講演を行い、わかりやすく、ユーモアを交えながら研究内容を説明しました。

そして、歓迎のステージでは、パイプオルガン研究会の辻ゆりさんが、荘厳な曲調から軽やかで楽しい曲



交響楽団による演奏



パイプオルガン演奏者の辻さん

まで4曲を披露し、会場に素敵な音色を響かせてくれました。

ステージの締めくくりは、「都ぞ弥生」の斉唱です。斉唱時には恵迪寮同窓会の呼びかけで役員等もステージに上がり、客席の方々も席を立ち隣の方と肩を組み、会場が一体となりフィナーレを迎えました。同窓生の皆様には本学の「今」を体感していただけたことと思います。



恵迪寮同窓会有志の皆様

全学行事

総務企画部広報課

歓迎式典・記念講演会

9月24日(土)10時～11時45分
クラーク会館講堂 参加者約270名

北海道大学 ホームカミングデー 2016



Be ambitious again!

第5回 ホームカミングデーを終えて

北海道大学総務企画部広報課



広報室総長補佐 西口 規彦

9月24日(土)、「Be ambitious again」をモットーに、「北海道大学ホームカミングデー2016」を開催しました。気持ちの良い秋晴れの中、多くの同窓生が札幌キャンパスに集い、盛況の内に幕を開きました。

同窓生を迎えるにあたり、全学行事と部局・同窓会が主催する行

事を企画しました。全学行事としては、クラーク会館講堂を会場に「歓迎式典・記念講演会」を開催しました。講演会に続いて、現役学生による歓迎のステージ、恵迪寮同窓会の有志による寮歌斉唱が行われ、様々な世代の同窓生が一堂に会し、同窓生同士のさらなる繋がりを期待できる会となりました。

全学行事の終了後は、本学、

校友会エール及びほっかいどう同窓会が共催のランチパーティで交流を深め、学生時代を懐かしみながら各学部等へ足を運ぶ同窓生が多く見られました。

多くの部局や同窓会が23日(金)から24日(土)にかけて、ホームカミングデー開催に合わせて講演会や研究室見学会、懇親会、同窓会総会などを開催し、まさに大学全体の同窓会となりました。各部局ではそれぞれ、現役学生と同窓生、旧教職員との交流を図る企画を実施したり、在学生の家族が参加する企画を行ったりと、様々な形の交流の場が広がりました。

次回、第6回のホームカミングデーは本年、平成29年9月30日(土)に予定しています。来年も各部局・同窓会等のご協力を得て、同窓生の皆様に喜んでいただけるイベントにしていきたいと考えています。再び多くの同窓生が集うことを願っております。



部局・同窓会主催行事

文学研究科・文学部、教育学院・教育学研究科・教育学部、法学部、経済学部、経済学研究所、経済学部

公開シンポジウム・同窓会総会・同窓会合同懇親会

9月24日(土)14時~19時
人文・社会科学総合教育研究棟
(W棟1003室等) 参加者107名

文学部・教育学部・法学部・経済学部の4部局による共同開催として、「地域を創造する人育て」産業・生活・学びを支える担い手をめぐる」と題し、人口減少が進展する地域(北海道)を活性化させるために必要な「担い手」について、産業、生活、学びの3つのアプローチから3人のシンポジストに提言をいただき、地域を創造する担い手を育てるのに何が必要かについて意見を



山口総長の挨拶



パネルディスカッション



シンポジウムの様子

交換を行い、今後の展望の考察を行いました。

冒頭、山口佳三総長の挨拶後、小内透教育学部長の司会により、前半部門は3人のシンポジスト(北海道銀行頭取 笹原晶博氏、コープさっぽろ理事長 大見英明氏、元北翔大学学長、札幌遠友塾自主夜間中学代表 遠藤知恵子氏)による提言がなされ、後半部門は教育学部同窓会長である竹田

正直名誉教授の総合司会で、参加したシンポジストを交えて討論を行いました。

公開講演会終了後は、各学部同窓会による総会、次いで、文学部・教育学部・法学部・経済学部同窓会による合同懇親会が行われました。懇親会には秋元克広札幌市長(法学部同窓生)をはじめとして多くの同窓生が出席し、和やかな歓談のひと時を過ごし、学部を超えての交流を深め、盛会のうちに終了しました。

医学研究科・医学部

北海道大学医学部フラテ祭2016

9月24日(土)13時30分~19時
医学部学生会館(ラニエ)
参加者127名

医学部では、「北海道大学医学部フラテ祭2016」を開催しました。

第1部の施設・キャンパスツアーでは、教員がツアーコンダクターとなりました。今年度は細胞生理学分野、法医学解剖室、遺伝子制御研究室、生体試料管理室、陽子線治療センターの5箇所とバスで大学構内を巡っていただきました。

第2部の講演会では、等原正典医学部長、實金清博北海道大学病院院長、廣重力名誉教授(元本学総長)が講演を行いました。

講演会終了後は第12回目となる音羽博次奨学金授与式が行われ、等原医学部長より11名の学生に奨学金が授与されました。第3部の交歓会は、北海道大学男声合唱団と医学部生によるピアノ伴奏にて「都ぞ弥生」学友会歌が披露された後、浅香正博同



医学部施設ツアーの様子



キャンパスツアーの様子



廣重名誉教授の講演



交歓会の様子

窓会長のご挨拶・乾杯により開宴されました。北海道大学交響楽団の弦楽四重奏の演奏の中、現役学生・学生父母・同窓生・教員が一同に会し、和やかな歓談のひと時を過ごしながら交流を深めることができました。

介・講演会)と題し、保健科学研究院の各分野から最近の教育研究の諸活動などについての近況報告、及び卒業生の方々を講師としてお迎えし、これまでの歩み、現在の活動状況などをお話ししていただきます。

齋藤 健研究院長からの開催の挨拶に始まり、分野紹介では、各分野から分野の各種構成等及び最近の教育研究について紹介し、講演会では、久保雅義氏(新潟医療福祉大学大学院医療福祉学研究所・教授)に、「チョイス」と題してお話しいただきました。



開会の挨拶をする齋藤研究院長



濫谷北海道大学病院医療技術部長による講演



久保氏による講演



分野紹介の様子

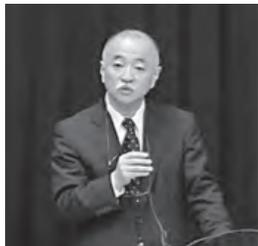
次に、濫谷齊北海道大学病院医療技術部長に、「臨床検査室は宝の山」をどのようにとらえ実践すべきか」と題してお話がありました。

歯学研究科・歯学部

北大の歯学教育、研究、臨床の現状―創立50周年を控えて―

9月24日(土)13時30分~15時
歯学研究科A棟2階歯学部講堂
参加者約20名

歯学研究科・歯学部では、「北大の歯学教育、研究、臨床の現状―創立50周年を控えて―」と題し、本研究科所属の教員による最新の研究及び臨床について



横山研究科長による挨拶



各分野の教員からの報告

の講演会を企画しました。歯学部講堂で開催された講演会では、はじめに横山敦郎研究科長・学部長が歓迎の挨拶を述べた後、来年には歯学部創立50周年を迎えることを含め、歯学研究科及

び歯学部の現況報告を行いました。引き続き、歯科医療及び研究の最新トピックスについて、本研究科所属の各分野の教員が報告を行いました。

獣医学部同窓会平成28年度通常総会、新評議員会・新理事会フォーラム「獣医学部とアフリカの関わり―歴史と将来―」、交流会、懇親会

9月24日(土)13時~18時30分
獣医学部講義棟会議室講堂
参加者約65名

昨年度と同様に、獣医学部同窓会通常総会及びフォーラム(交流会)を開催しました。

獣医学部同窓会平成28年度通常総会では、45名の同窓生にご参加いただきました。その後、65名の同窓生及び学生が参加して開催したフォーラム(交流会)では、「獣医学部とアフリカの関わり―歴史と将来―」と題して、約30年前に開始されたODA(政府開発援助、無償資金協力)及びJICA(ザンビア大学獣医学部技術協力プロジェクト)への中心的関与を通じた本学獣医学部とザンビア大学獣医学部との関係を、その舞台裏から発展的に進歩した現在の状況、そして今後について議論しました。

保健科学院 保健科学研究科
保健科学研究所 保健科学研究所

保健科学研究所 ホームカミングデー(分野紹介・講演会)

9月24日(土)13時30分~16時10分
保健科学研究院大会議室C棟6階
参加者30名

保健科学院・保健科学研究所・医学部保健科学科では、保健科学研究所ホームカミングデー(分野紹介・講演会)

今年からは、在校生父母も対象として案内し、参加者からは教育内容等について質問がなされるなど盛会のうちに終了しました。



獣医学部同窓会通常総会及びフォーラム参加者の集合写真

情報科学研究科

北楡会・北海道大学情報系交流会

9月23日(金)13時30分~18時
情報科学研究科講義室(ロビ)
参加者105名

工学部情報エレクトロニクス学、情報科学研究科及び旧電気、電子、情報、生体系の各学科の同窓会である北楡会との交流会を開催しました。

開会挨拶に続いて、21研究室の大学院生が、所属する研究室の最新の研究内容について、北楡会



開会の挨拶



ポスター展示



田中教授の講演

員や教員にわかりやすく説明するポスター発表が行われました。引き続き、講演会が行われ、経済産業省北海道経済産業局地域経済部長の寒川卓知氏から「地域経済の発展に関わる立場からみた大学の地域貢献・産学官連携への期待」、株式会社日立製作所CS

R・環境戦略本部担当本部長兼企画部部長の高橋和範氏から「日立グループの経営企画と研究開発戦略」、本研究科情報理工学専攻の田中章教授から「色復元の数理モデル―褪色カラーフィルムからの色彩復元―」の3件の講演がありました。

水産科学院・水産科学研究所・水産学部／北水同窓会

水産学部卒業生のつどい（講演会）

9月24日（土）14時～16時
学術交流会館第1会議室 参加者46名

水産学部では、本学部卒業生の西田清徳氏（大阪・海遊館館長）



安井学部長の挨拶



横山北水同窓会
会長の挨拶



講演会の様子

による「進化を続ける水族館と水族館の過去・現在・未来」と題して講演会が行われる予定でしたが、ご本人の体調不良により、急遽、本学部の荒井克俊教授が講演を行うことになりました。

講演会に先立ち、安井肇学部長から函館キャンパスにおける施設整備の状況や教育研究活動の近況

報告の後、横山清北水同窓会会長（北海道大学校友会エルム理事）からご挨拶がありました。続いて、講演会では、荒井教授による「なぜ北大には水産学部があるのか?!」札幌農学校における水産学事始めから、北海道大学の持続可能な水産科学へ向けて」と題した講演が行われ、水産学部における過去の出来事や函館にキャンパ

環境科学院・地球環境科学研究所

松野環境科学賞授賞式、修了生講演会、コース・研究室紹介パネル展示、懇親会

9月23日（金）14時～19時30分
環境科学院 北部食堂 参加者65名



松野環境科学賞授賞式



修了生講演会



懇親会の様子

環境科学院のホームカミングデーは松野環境科学賞の授賞式で始まり、各専攻より選ばれた4名の受賞者が、拍手の中、賞を受け取り、受賞後のスピーチでは、それぞれが研究への想い、お世話になった指導教員や協力して

に於いて開催しました。参加者は、学生、教員他、松野環境科学賞受賞者、修了生講演会の講演者も集い、受賞内容や卒業生の近況などについて終始楽しい懇談が行われ、賑やかな懇親会となりました。

**理学院・理学研究所・理学部
生命科学・先端生命科学
研究所／理学部同窓会**

理学部ホームカミングデー

9月24日（土）13時30分～18時
理学部2号館玄関ロビー他 参加者74名



石森理学研究院長の
近況報告



同窓会奨学生の発表



同窓会総会の様子

5回目となる理学部ホームカミングデーは、今年も理学部同窓会の総会をこの日にあわせて開催しました。

最初に、2号館玄関ロビーを会場に、理学部の現況報告を行いました。石森浩一郎理学研究院長・

を本館大会議室で開催し、議案に対する審議を行いました。例年どおり多くの同窓生に出席いただき、同窓会の運営に関して熱心な質問や意見交換がなされました。総会終了後、教職員と同窓生はフアカルティハウス「エンレイン

理学院、理学部部長、泉屋周一同窓会理事長の歓迎の挨拶の後、石森研究院長が近年の理学部関連における研究成果の説明や、学部・大学院が関係する教育プログラム等に関して報告しました。

ウ」に移動し、理学部と同窓会交流会に参加しました。歓迎の合間には現職教員が各学科の近況を報告し、また同窓生の出席者からは理学部を応援するお言葉をいただきました。泉屋同窓会理事長の閉会挨拶・乾杯の後、同窓生は出身学科の教員の案内で理学部建物に戻り、研究室見学、現役学生・教員との懇談会に参加して交流を深めてい

農学院・農学研究所・農学部

市民公開・農学特別講演会

9月23日（金）13時30分～15時40分
農学部大講堂 参加者105名

農学院 農学研究所・農学部は、札幌農林学会・札幌農学同窓会とともに、同窓生、市民、教職員、



増田特任教授



原教授



講演に聞き入る参加者

学生を対象とした市民公開・農学特別講演会を開催しました。本特別講演会は、明治31年発足の札幌農林学会が開催してきた学術講演会を継承・発展させたもので、100年以上の歴史があります。平成9年からは市民公開・農学特別講演会と名称を改め、広く一般市民の方々に公開しています。本年のテーマは昨年引き続き「農と食が創る持続的な社会」として開催しました。

横田篤研究院長による挨拶の後、農学研究所の増田清特任教授より

**国際広報メディア・観光学院
メディア・コミュニケーション研究院**

**ホームカミングデー@IMCTS2016
（修了生meet在学生2016）**

9月24日（土）13時～19時30分
メディア・コミュニケーション研究院
メディア棟 参加者52名

国際広報メディア・観光学院のホームカミングデーは、今年度からリニューアルした「国際広報メディア・観光学院PRビデオ」の放映で開幕しました。

「アスパラガス―その雌雄性と栽培」と題して講演がありました。続いて農学研究所の原博教授より「からだにいい糖の話―食物繊維、オリゴ糖、そしてメカロ糖へ」と題して講演がありました。会場には同窓生19名や一般市民の方55名にもお越しいただき、大講堂の多くを埋める105名の参加となりました。両先生提供の話題・内容が大変興味深く、話に刺激されて、時間内に答えられない程の多数の質問もあがる等、大変盛会となりました。

修了生講演会第一部では、国際広報メディア研究科第5期の佐藤充氏（ジェイ・ウォルター・トンソン・ジャパン合同会社）より「IMCTSで学ぶことは、ビジネスにどう効くのか」と題して、第二部では、観光創造専攻第一期の富岡耕太氏（東日本旅客鉄道株式会社・仙台駅助役）より「鉄道員を支える観光創造への2年間」と題して講演いただきました。同窓会総会では、札幌、東京、



北京における活発な活動について報告が行われ、今後の同窓会の組織化をさらに高めていく方策について話し合われました。続く懇親

会は修了生、教員、在学生や本院のOB教員で賑わい、盛会のうちに終了しました。

経済産業省北海道経済産業局の寒川卓知地域経済部長から「地域の発展に関わる立場からみた大学の地域貢献・産学官連携への期待」、株式会社日立製作所の高橋和範CSR・環境戦略本部担当本部長兼企画部長から「日立グループの経営計画と研究開発戦略」、情報科学研究科の田中章教授から「色復元の数理モデル」褪色彩ラフィルムからの色彩復元」について講演が行われました。なお、ポスター発表のうち22課題については、工学系連携推進部ホームページで工学系研究者シーズ集Vol.14として公開していますので、ぜひご覧ください。

工学部食卓において、工学部のOB・OGである同窓生や保護者の方を多数お迎えし、全体懇親会を開催しました。昨年度から同窓生に加え、保護者の方も参加される懇親会となり、今年度は70名近い保護者の方々を含む、総勢100名ほどの参加がありました。

工学院・工学研究院・工学部
北海道大学工学系イノベーションフォーラム2016

9月23日(金)13時30分～17時
情報科学研究科2階ロビー/A21教室
参加者87名

本フォーラムは、工学研究院における地域連携や社会連携に向けた研究を支援することを目的とした工学系連携推進部と、工学部情報エレクトロニクス学科及び情報科学研究科の同窓会である北楡会の共催事業として実施しました。開会



ポスター発表



講演する寒川氏



講演する高橋氏

・北工会サークル展示
9月24日(土)9時～17時 工学部正面玄関ホール

工学部正面玄関において、北工会(工学部の教職員・学生等の親睦団体)の公認サークルによる作品(書道、写真、生け花)を展示しました。

・保護者向けの講演会及び個別面談

9月24日(土)13時30分～16時
工学部オープンホール
参加者197名



個別面談の様子

講演会では、名和豊春工学部長、五十嵐敏文工学研究院副院長、藤村奈央助教から、工学部の教育方針、就職サポート、大学院教育、グローバル化など、それぞれの立場による工学部としての取組みや強み等について講演が行われました。また講演後には、個別面談を希望された65組の保護者の方々が、学生が所属している各コースの担当教員とそれぞれの会場に分かれて熱心に担当教員に質問されていました。

◆<http://labs.eng.hokudai.ac.jp/office/elo/jp/seeds/>

・同窓生向け講演会
「知恵と多様性の翼で羽ばたく工学」

9月24日(土)13時30分～16時
フロンティア応用科学研究棟
鈴木章ホール(レクチャーホール)
参加者32名



講演する岩井教授



講演する名和工学部長



講演する田村教授

工学部教育・キャリア企画室では、「知恵と多様性の翼で羽ばたく工学」を全体テーマに、同窓生向けの講演会を行いました。名和豊春工学部長からは「工学部92年の歩みとその展望」と題し、工学部の創設から現在までの教育・研究状況と、今進められている新たな将来構想についての講演が行われました。引き続き、岩井一彦教授、小林幸徳工学研究院副院長、田村亨教授から、それぞれの所属される応用理工系学科、機械知能工学科、環境社会工学科の変遷と近況に関する講演が行われました。

薬学研究院・薬学部

北海道大学薬学部の現状と
第19回北海道大学薬学部生涯教育
特別講座 秋季講演会

9月24日(土)15時～19時30分
薬学部臨床講義室
参加者143名

薬学部の現状報告及び生涯教育特別講座・秋季講演会を開催しました。

はじめの現状報告では、南雅文薬学部長から薬学部(薬学研究



講演する田村先生



講演する佐藤教授



会場の様子

院)の研究組織、教育研究への取り組み、教員構成、教員の異動等について紹介がありました。薬学部生涯教育特別講座は、薬学部同窓生を含む医療関係及び関連領域の仕事に従事される方を対象に、医療における諸問題について最新の情報を提供することを目的として開催されており、本秋季講演会には薬局や病院などの薬剤師の方々をはじめ、薬学部学生や教員、同窓生等143名の参加がありました。

附属図書館

企画展示
「所蔵写真と地図で辿る
明治の北海道」パネル展示

9月24日(土)9時～19時
附属図書館本館玄関ロビー
参加者10名



玄関ロビーパネル展示



見学者アンケート



開拓史仮庁舎屋上より撮影した札幌市内のパノラマ写真

においては、3名の参加者があり、屋上から農場の景色を眺めた後、放牧地、牛舎及びスキ試験圃場で山田敏彦農場長が説明を行いました。身近に作物や家畜に触れられ、参加者からは好評でした。

また、植物園においては、幅広い年代にわたる卒業生等22名が来園し、温室・博物館・宮部金吾記念館など園内を懐かしそうに見学していました。

北方生物圏フィールド科学センター
「生物生産研究農場」ミニツアー、
植物園の見学

9月24日(土)
ミニツアー 14時30分
～15時、15時30分～16時
・植物園 9時～16時
生物生産研究農場 植物園
参加者25名

北方生物圏フィールド科学センターでは、耕地圏ステーション生物生産



「生物生産研究農場」ミニツアー



「植物園の見学」の来園者

研究農場のミニツアー及び植物園の見学を実施しました。「生物生産研究農場」ミニツアー

総合博物館

企画展示「ランの王国」及び
常設展示の展示解説

9月24日(土)10時～17時
総合博物館 参加者70名

7月26日(火)にリニューアルオープンした総合博物館では、企画展担当教員と本学学生による展示解説が行われました。「ランの王国」展では、企画担当した高橋英樹教授が午後2回、展示制作のエピソードをまじえな

がら各展示物の説明を行いました。卒業生や様々な年代の参加者が質問や感想をお寄せ下さり、展示室で和やかな交流の場が生まれました。

また、総合博物館で活動する北大ミュージアムクラブ Mouseion に所属する学生3名が、次の内容で午前と午後計6回、展示解説を行いました。「シロフチヘビゲングをめぐって」(杉谷由希・文学部2年)、「文学部らしくない?文



現役学生スタッフによる
ガイドを真剣に聞き入る同窓生



キャンパスの今昔を語り合う様子



記念撮影

現役学生スタッフによるガイドを真剣に聞き入る同窓生。また、ミュージアムクラブの他の学生達が解説をサポートしました。

の挨拶の後、歓談に移りました。会場は、大学関係者や卒業生140名で一杯になり、話が盛り上がり、予定していた時間はあっという間に過ぎてしまいました。



ランチパーティー風景

北大キャンパスビジットプロジェクト
キャンパスツアー
現役北大生とめぐるキャンパスツアー
9月24日(土) 13時~15時30分
札幌キャンパス構内 参加者9名

全体行事の会場となったクラーク会館を出発し、参加者の出身学部に応じてコースを分けて札幌キャンパス構内を順次巡り、高等教育推進機構を最終到達地点とし

たツアーを実施し、9名の方に参加していただきました。北大キャンパスビジットプロジェクトでは、年に数回、一般市民向けのキャンパスツアーを行っており、今秋にもキャンパスツアーを実施する予定です。今回、ご参加いただいた方々から伺ったことができた過去の様子なども参考にし、これからのキャンパスツアーをよ



・北海道大学合唱団ストリートライブ

9月24日(土) 11時55分~12時25分
クラーク会館正面玄関付近 参加者70名

合唱団が卒業生の皆様に男声合唱でお迎えました。「都都弥生」を含む数曲の合唱に、多くの方が足を止めて歌声を楽しまれました。



講演会の様子



現職生による平成新時代の
寮歌指導 (大寮歌祭)



年代ごとに登壇し名寮歌を
熱唱する参加者 (大寮歌祭)

恵迪寮同窓会
文化講演会・大寮歌祭
9月24日(土) 14時~20時30分
クラーク会館大集会室 参加者120名
文化講演会は、北大・恵迪寮精神の継承の場として開催し、OBや一般市民ら100名近い参加が

ありました。今年は、井上勝生名誉教授(元文学研究科教授)より「内村鑑三・有島武郎と石狩川・千歳アイヌ民族―札幌農学校の歴史を見なおす―」のテーマで講演がありました。その後、札幌アスペンホテルに会場を移し、恵迪寮同窓会・大寮

歌祭を開催しました。3年に一度札幌で行われる大寮歌祭には、来賓の三上隆理事・副学長や石山喬校友会エール会長ほか、全国から100名近いOBをはじめ、恵迪寮生、友好関係にある小樽商科大学応援団有志らが出席しました。

ほっかいどう同窓会

ホームcomingデー

ウエルカムランチパーティー

9月24日(土) 12時15分~13時30分
百年記念会館大会議室
参加者164名

ほっかいどう同窓会では、全学行事の歓迎式典・記念講演会に引き続いてランチパーティーを行いました。三上隆ほっかいどう同窓会会長の挨拶に続いて、山口佳三総長、石山喬校友会エール会長



高橋教授による企画展示解説

大学文書館では、特別展示「初期の札幌農学校の札幌農学校」(会場・沿革展示室)と、常設展示「北大学生の群像」・「札幌農学校遊戯



展示ホールの公開



閲覧室の見学風景

特別展示「初期の札幌農学校」常設展示「北大学生の群像」・「札幌農学校遊戯」・「新渡戸稲造と遠友夜学校」
9月24日(土) 25日(日)
9時30分~16時30分
大学文書館1階/沿革展示室、展示ホール、会議室、閲覧室
参加者50名

また、両日は、会議室と閲覧室を臨時に開放し、室内に飾り付けた扁額・油彩画・表札などをご覧いただきました。

また、両日は、会議室と閲覧室を臨時に開放し、室内に飾り付けた扁額・油彩画・表札などをご覧いただきました。

学務部教育推進課
(北海道地区国立大学連携教育機構)
国立大学教養教育
コンソーシアム北海道の取組
9月24日(土) 13時~16時
クラーク会館フロンティア応用科学研究棟2階ホワイエ 参加者290名
現在、本学をはじめとする道内の国立大学間で実施している教養教育連携実施事業(国立大学教養教育コンソーシアム北海道)の取組について、午前中はクラーク会館受付前で、午後はフロンティア応用科学研究棟2階ホワイエにお



魚類の展示解説 (杉谷さん)



文学部展示の解説 (松山さん)



昆虫の展示解説 (伊藤さん)



クラーク会館でのパネル等の展示

学務部学生支援課

北海道大学写真部・北大カメラクラブOB合同展、北海道大学合唱団ストリートライブ



・北海道大学写真部 北大カメラクラブOB合同展
9月24日(土) 10時~18時
クラーク会館3階展示場 参加者50名

公認学生団体の写真部が、北大カメラクラブOBとの合同写真展を開催し、作品を披露しました。

政治、経済、
社会を直撃

財界さっぽろ

情報を先取り、タブーに挑戦



東京都内で「財界さっぽろ」は次の書店でお求めになれます。

紀伊國屋書店 新宿本店
三省堂書店 神保町本店・有楽町店
丸善 アークヒルズ店

Amazonでも
購入できます。

毎月15日発売
北海道最大の
部数を誇る 月刊総合誌

年間購読のお申込は、
お電話かホームページで
財界さっぽろ 検索

株式会社 財界さっぽろ

札幌市中央区南9条西1丁目1番15号 TEL: 011-521-5151
代表取締役社長 舟本 秀男 http://www.zaikaisapporo.co.jp/

北海道日建設計は2016年に60周年を迎えました

みんなで「つくる」を大切に

北海道日建設計は、日建設計のグループ会社として1956年に誕生しました。これまで、北海道の人と風土に根ざした「生活環境や社会環境づくり」を目的に、建物をつくるだけでなく、多くの人々との交流をもとに、みんなで「つくる」を実践してきました。これからも、環境に配慮した美しい景観の創出をはじめ、人々が「生きる場」としての街づくり・空間づくりに取り組んでいきます。

取締役会長 菅野 彰一 (工・昭53・建)
代表取締役副社長 久保田 克己 (工・昭59・建)



株式会社 北海道日建設計
札幌市中央区大通西 8-2 住友商事・フカミヤ大通ビル
TEL: 011-241-9530 FAX: 011-261-7673
URL: http://www.h-nikken.co.jp

北大法学部・経済学部 合同東京同窓会開催

日時：平成28年11月2日 / 会場：恵比寿ヒアステーション
経済学部東京同窓会事務局 藤井 孝先 (H7卒)

法学部 経済学部合同東京同窓会は、平成28年11月2日、東京・恵比寿ヒアステーションで69名の参加のもと盛大に開催されました。この会は単独・合同開催を隔年毎に行い、今年は合同で経済学部が幹事役で行われました。



講演：東京同窓会
杉江会長

冒頭の講演会は、杉江和男北大東京同窓会会長より、昨年6月に発足した「北大校友会エルム」の設立経緯、目的等についてお話を頂きました。参加者のうち同窓会役員を除くとほとんどの方が校友会の設立については情報が少なく、理解を深める絶好の機会となりました。その講演の骨子は次の通りです。

① 校友会設立の経緯と概要
② 北海道大学の目標
③ 校友会の目的
④ 組織の存在意義はステークホルダーの期待に応えること
⑤ 資金確保の方策
⑥ 委員会による政策作り、実行は会員(同窓会)の力を活用

続いて、陣谷経済学部東京同窓会会長より「校友会が発足し、平成29年度入学生から校友会会員登録が本格化、しかし足元の東京同窓会法学・経済の本会員数は、双方合わせてやっと200名を超えるに留まっている。校友会発足を契機に東京同窓会会員を増加させ校友会の支援をする必要あり。」との挨拶が行われ、引き続き、本学からのご来賓である長谷川法学部長、町野経済学部長から各学部の重点取組テーマや進捗報告が行われました。

次いで、上野経済学部同窓会会長より「校友会発足に伴い、今年一度卒業生会員へのアプローチや東



「都ぞ弥生」斉唱

京同窓会との連携を密にしたい」とのご挨拶の後、乾杯、懇親会となりました。

今回は、ゆっくり座って話したいとのご意見により着席形式での懇親会となりましたが、時間とともに他のテーブルのメンバーとの交流、情報交換があちこちで起こり盛会となりました。

閉会にあたり奥野滋法学部東京同窓会会長よりご挨拶があり、その後「都ぞ弥生」斉唱、集合写真を撮影し散会となりましたが、熱い思い断ちがたく各々の参加者は仲間達と二次会へと向かいました。

【ご来賓】長谷川晃法学部長、町野和夫経済学部長、法学部恩師



厚谷襄児先生、向井諭法学部同窓会長、上野昌美経済学部同窓会長、田中洋行東京オフィス長

なお、本年は同時期に法学部、経済学部の東京同窓会がそれぞれ単独で開催されます。事務局で連絡出来ているOBは限られており、ご案内がみなさまに行き届いておりません。

フロンティアをご覧の両学部のOBの方がいらっしゃいましたら、是非ご参加下さい。

北大・九大合同活動報告会 「九大・北大から世界へ 大学発ベンチャーの挑戦」

北海道大学
研究推進部研究振興企画課
エールフォーラム講演会
委員長 島山義彦(S55水産)



挨拶をする山口総長

本学と九州大学は、両大学主催による「九州大学・北海道大学合同活動報告会」を平成28年11月5日(土)に東京都千代田区の都市センターホテルで開催し、一般参加者及び両大学OB・OGを含め109名(北大48名、九大61名)の参加をいただきました。



パネルディスカッションの様子

本学山口佳三総長による挨拶・大学紹介で始まり、続いて伊藤洋一文部科学省科学技術・学術政策局長よりご挨拶をいただきました。引き続き、本学牧内勝哉特任教授、吉田靖弘教授、九州大学山内恒グループリー



牧内教授



吉田教授

●オーブンイノベーション促進、ベンチャーキャピタリストの成長、大学経営の強化など新しい社会、産業環境を踏まえ、大学の研究シーズのあり方に対して新しいアプローチを構築すべき時期が来ている。
●北海道大学では、2015年4月から創業デスクを立ち上げ、組織として北大発ベンチャーの創業支援に改めて着手した。さらに、北大発ベンチャー称号授与制度を創設し、これまで10社の企業を認定した。また、ベンチャーキャピタルと協力協定覚書を締結して、投資案件の発掘などを協力して行うなどの事業に着手している。大学の兼業制度、知財制度、利益相反マネジメントなど大学発ベン

のライラックファーマ株式会社須佐大樹氏、九州地域の大学発ベンチャーを支援するQBキャピタル合同会社坂本剛氏を加えた6名をパネリストとして、講演内容を中心にディスカッションが行われ、盛会のうちに終了しました。また報告会終了後、交流会を開催し、両大学の盛んな交流を図りました。

講演資料より抜粋 (広報委員会)

「大学経営と大学発ベンチャー」
北海道大学 産学・地域協働推進機構 副機構長(特任教授) 牧内 勝哉

「北大歯発ベンチャーの設立と 医療イノベーションへの展開」

北海道大学大学院歯学研究科 教授 吉田 靖弘

●「医」と「工」「歯」が連携することにより、「医歯工連携事業」として実用化研究を進めている。その一例がリン酸化プルラン。我が国が世界シェア100%を誇る天然多糖プルラン、その誘導体であるリン酸化プルランは、生体硬組織(歯や骨)に対して強固に接着する画期的な医用材料である。
●①殺菌剤デリバリー型の口腔ケア製品、②高機能歯内療法用材料、③生体吸収性(骨置換型)接着性人工骨、④埋植型医療機器に薬剤を融合したコンビネーションプロダクト、⑤製剤の徐放を精密制御できるドラッグデリバリーシステムなど、様々な用途に展開中で、この新素材・リン酸化プルランをキーマテリアルとして、新しい医療技術を世に送り出すべく実用化研究に着手した。

●北大発ベンチャーを2社設立して産官学連携事業を進行中。メ

●この開発研究を通してより高機能な医療用製品の実用化を目指している。第一弾として、従来品にはなかった生体硬組織への接着機能を有する世界初の生体吸収性人工骨の実用化に着手。まず歯科用人工骨として先行開発し、その後、整形外科用へと展開予定。
●株式会社フエノム研究所は内閣総理大臣賞受賞者を社長とする北大登録第一号ベンチャーで、フィロム状医薬品・医療機器を主要製品として、ヒトならびに動物用の様々な製品の開発・実用化を目指している。

「九州大学の大学発 ベンチャー創出へ向けた取組み」

九州大学学術研究・産学官連携本部ベンチャー創出推進グループ
グループリーダー(研究推進主幹) 山内 恒

「基礎研究に根ざした革新的な有機EL発光 材料の創製から九大発ベンチャーへの展開」

九州大学工学研究院主幹教授
株式会社Kyulux技術アドバイザー 安達 千波矢

●2熱活性化型遅延蛍光(TADF)と呼ばれる現象は、光化学の一つの現象で、実用性には程遠い現象と認識されていたが、最先端有機光エレクトロニクス研究センター(OPRC)では、有機発光材料の新規の分子の設計を進め、電流をほぼ100%の効率で光に変換するEL素子を実現した。

●主有機化合物の魅力は、その多様な分子構造にあり、TADF有機発光材料の開発はまさにその自由度を100%活用した新分子の

10月に創設し、本学教員等の事業検証を支援する仕組みを構築。また、起業後の「九大特定支援ベンチャー」に対し、ライセンス優遇、インキュベーション施設の利用優遇などの仕組みを検討中。
●起業家人材の確保のため、起業家教育組織である九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センターや九大ビジネススクールまた、福岡市やベンチャー支援機関(ベンチャーキャピタル等、九大OB)など学外の組織や個人と連携している。



エルム談話室

活動報告

平成28年7月から12月までのエルム談話室の講演内容です。
エルム談話室は毎月第一金曜日午後2時からサピアタワー10階の北大東京
オフィスで行われます。同窓会のメールマガジンでもお知らせしていますの
で、気軽にお越しください。(参加費500円) 清水慧 (S43工・衛生)

【第799回】

演題：「化学物質とヒト有害性」

日時：平成28年7月5日14時～15
時30分 17人出席

講演者：西川 智 (獣医学部昭和
45年卒、医学博士(山口大学医学
部第一病理学教室) 内分泌病理学
略歴：昭和45年4月協和発酵工業
入社、平成16年11月同社定年退職
平成17年1月(財)化学物質評価研
究機構入社、平成19年4月(独)製
品評価技術基盤入社、平成24年4月
化学物質リスク評価研究所設立
現在 (公財) 神奈川県科学技術ア
カデミー教育スペシャリスト

講演内容：

一、2012年から所属の公益財
団法人主催で「化学物質の有害性
評価コース」を実施している。
二、受講者は、化学物質を製造又
は使用する会社、医薬品会社、毒
性試験受託会社等の担当者及びコ
ンサルタントで専門は化学系が主

体で一部は生物系である。

三、国連憲章では「2020年ま
でに化学物質の生産や使用が人の
健康や環境にもたらす影響を最小
化する」理念が示されているが、
残された4年で我々は何を為すべ
きか共に考えたい。

四、2014年の労安法改正では、
事業者がリスクアセスメントの義務
付け、ストレスチェック制度の創設
等が盛り込まれた。

五、東北大震災の復興に多くの学
生がボランティアとして活躍した
が、倒壊した建物にはアスベスト
が使用されているものも多くあ
り、将来の影響が憂慮されている。

六、国際的状況

①中国
i 江蘇省常州市の中
学校で校舎移転後、
生徒493人に皮膚炎
などの異常あった。隣
接する化学工場跡地で



西川智氏

④日本
化審法(化学物質の
審査及び製造等の規

③米国

大統領選挙結果が、TSCA (Toxic
Substances Control
Act) 法規制の改正に
影響する。

ii EU域内で化学物質を年間1
トン以上製造・輸入する業者は、
化学物質の安全性データをEU化
学品庁に登録義務。

は、地下水から基準値の約9万倍
のクロロベンゼンが検出された。
(読売新聞2016年4月18日)
ii 中国では土壌汚染が深刻で、
汚染物質を排出する企業690社
の敷地や周辺での調査で、36%の
調査地点で基準値を超えていた。
(共同通信2015年12月18日)
iii 大気汚染のため世界で年間
550万人以上が死亡し、その
55%が中国とインドであるとの報
告が米科学振興協会の年次会合
で発表された。
(AFP時事2016年2月14
日)

②欧州(REACH法規制)

i R (登録 Registration)、
E (評価 Evaluation)、A (認
可 Authorisation)、R (制限
Restriction)、CH (化学物質
(Chemical) が、2007年6
月1日から発効。

ii EU域内で化学物質を年間1
トン以上製造・輸入する業者は、
化学物質の安全性データをEU化
学品庁に登録義務。

制に関する法律)は、大きく3つ
の部分で構成される。
i 新規化学物質に関する審査及
び規制
ii 上市後の化学物質に関する継
続的な管理措置
iii 化学物質の性状に応じた規制
七、化学物質によるリスクは、次
式で表される。
リスク=危険・有害性(ハザード)
×暴露量
暴露量を併せて評価し、管理して
いくことが大切である。
八、まとめ、2016年10月より、
御茶ノ水女子大学の「知の市場」
で、無料の化学物質の有害性評価
コースを開講し更なる啓蒙活動を
広げていきたいと考えている。

【第800回】

演題：「ネパール地震から1年3
カ月」ー現状と課題について

日時：平成28年8月5日14時～15
時30分

講演者：アジャル・アディカリ &
塚田恭子

講演内容：

一、日本にきて25年、(株)パスコ
に勤務してGIS(地理情報シ
ステム)をやっている。
二、千葉の自宅で東日本大震災に
会い、ネパール在住中にネパール
地震に遭遇。
三、チベットの概要

①正式国名は、ネパ
ール連邦民主共和国。人
口2649万人
②93の異なる言語や地
域語を持つ100以上の
の民族が暮らす
③面積14・7km²、北
海道約1・8倍。最
低標高は70mで最高
標高はエベレストの
8848m。世界の8000m級
の峰のうち8座がネパールにあ
る。
④東西800km、南北230km
⑤GDPは約74985ルピー
(762米\$)
⑥GDPの約31・2%および就労
人口の約66%が農業に依存
四、地震の状況



アジャル・アディカリ氏と塚田恭子氏

サルコートに寝泊ま
りしていた。
⑦27kmのカトマンズ
の周回道路を自転車
で見聞した。日干し
煉瓦の建物や、増築
を重ねた建物が被災
していた。カトマン
ズは、寺院の街と言
われ、15世紀にたて
られた寺院の8割が被災した。

⑧寺院の多くはレンガを積み上
げただけなので、土台だけが残
り、建物は倒壊した。
⑨食料と水は通常でも5日に1
回の給水で、各家庭に給水タン
クがあり、確保されていた。
六、バルチエ村への支援。
①村の9割が全壊した。
②カトマンズから110km離れた村
で、車で7時間かかる。
③形がわかる支援を目指し、まず、
トタンとコメとお菓子を2トント
ンラックで運搬。
④4月25日に発災し、5月19日にト
タンを運ぶ。6月6日には人手困難
に。物資配布は、平等に配るよう
に配慮。

⑤各村とも、鉄筋コンクリートでの
学校の再建を急いでいる。
⑥チュッパティには、ユネスコの
支援で1000個のテント村が建設
され、今年4月には畑も作られた。
⑦略奪はなかったが、奥の村への通

行を阻止されたことはあった。
⑧政府は、全壊した世帯に20万ル
ピーを段階的に配布する計画だが、
政治的混乱は続いており、何時にな
るか不明。
⑨米軍が支援用にオスプレーを派遣
したが、高度を下げると家屋のト
タンがはがれるので、近づけなかつ
た。オスプレーは、ネパールのよう
に高度の高いところでは運搬能力が
落ち、一度に200kg程度しか輸送
できなかった。
⑩これからは、物の支援から防災意
識の向上に力点を置く必要がある。
⑪大人は、宗教心が強く、地震も神
への教育が大人に伝播してゆくよう
な、息の長い教育支援が必要である。

【第801回】

演題：「浮橋・舟橋、知られざる
歴史」

日時：平成28年9月2日14時～16
時 17人出席

講演者：前田直寛 (昭和43年工学
部土木工学科卒)

略歴：昭和43年日本鋼管(株)入社、
平成10年7月駒井鉄工(株)入社、
平成14年10月技術士事務
所アバンテ・テクノロジー
設立、平成15年1月(株)ア
バンテ・テクノロジー設
立 現在に至る。
大学卒業後、沖縄県泊大



前田直寛氏

した後、ペルシャ
帝国、アレキサン
ドロス大王、ロー
マ帝国、中国の舟
橋について解説を
行った。

橋の架設を始め、九州から北海
道と日本全国の橋の工事を担当
した実績を持つ。平成8年に工
学博士号取得。また、橋をもつ
と身近に感じて欲しいとの思い
で、北大同窓会等で「橋の話」
をしている。これまで話したテー
マは、①橋の未来②この橋渡る
べからず③浪華八百屋橋 こぼ
れ話④橋、歴史とロマンなど

講演内容：

一、5つの海峡横断方式
海峡を横断する方法は、橋梁、浮
橋、水中トンネル、沈埋トンネル、
山岳トンネル(シールドトンネル)
がある。浮橋は今日の話のテーマで
ある。橋梁、沈埋トンネル、山岳ト
ンネルでは、いずれも世界一を誇っ
ている。水中トンネルは、まだ実績
が無い。また、水中トンネルは、私
の博士号の研究テーマである。

二、橋梁工学には「浮橋・舟橋」は、
含まれていない。なぜ含まれていな
いのか？なぜ浮橋・舟橋の橋梁史の
研究がなされていないのか？先ずそ
の解説を行った。

三、古代の浮橋・舟橋

最古の浮橋の記録について概説
した後、ペルシャ
帝国、アレキサン
ドロス大王、ロー
マ帝国、中国の舟
橋について解説を
行った。

四、中世の浮橋・舟橋
ナポレオンの舟橋について説明している。他にも沢山の浮橋・舟橋の記録があるが、舟橋の絵があり記録があり説明し易いのでナポレオンの舟橋に焦点を当てて説明した。動画も上映した。

五、日本の浮橋・舟橋
日本最古の橋は舟橋？から解説し、奈良・平安時代、鎌倉・室町時代、戦国時代、江戸時代と時代区分毎の浮橋・舟橋について解説している。

舟橋の絵があるのは鎌倉時代からで、江戸時代に入ると浮世絵等にたくさん舟橋の絵が存在している。その幾つかを紹介した。

六、近・現代戦争と軍用浮橋
第二次世界大戦で使われた舟橋を戦況を交えて説明した。最後に最新の軍橋を動画で紹介した。

七、現代の浮橋
ノルウエー、アメリカ、トルコ、ヨーロッパ、中国、日本の浮橋を紹介した。

浮橋・舟橋が多く存在していたこと、そして歴史の裏には一橋あるいは技術・工学」が大きな役割を果たしていることも理解していただけだと思います。

【第802回】
演題：「ヒロシマと野球」
日時：平成28年10月7日14時～16時

時
講演者：古川俊実(昭和35年文学部卒)
略歴：昭和35年4月～36年3月北海道新聞記者、昭和36年4月～平成7年12月朝日新聞記者、その後、専修大学文学部非常勤講師、『週刊20世紀』編集スタッフ、中国残留孤児の国家賠償請求機関誌編集、在日韓国人の「民団」機関誌編集、多摩の地域紙編集、『北大野球部100年史』編集



古川俊実氏

講演内容：一、日本での野球放送は、日本放送ラジオで5時40分～50分に開始された。
二、達川は、広島商業から東洋大学に進学、昭和52年に広島に入団
三、広島商業3年の時、選抜に出場。
四、準決勝で江川の作新学院と対戦、達川のポテンヒットで勝利。
五、夏の大会では、本塁打を打ち、甲子園での木のバットでの最後の本塁打となっている。
六、入団4年目から正捕手となり、「ささやき戦術」が有名。
七、打者に「今度は真ん中」とささやくと、打者は「真ん中はない」と判断。実際に真ん中が打球され、「次はアウトコース」とささやき、実際にはインコースだったりすると、打者は混乱する。

・広島カープ関連の話
一、広島カープの捕手だった達川光男が解説時に「原爆許すまじ」を歌った。
二、達川は、広島商業から東洋大学に進学、昭和52年に広島に入団
三、広島商業3年の時、選抜に出場。
四、準決勝で江川の作新学院と対戦、達川のポテンヒットで勝利。
五、夏の大会では、本塁打を打ち、甲子園での木のバットでの最後の本塁打となっている。
六、入団4年目から正捕手となり、「ささやき戦術」が有名。
七、打者に「今度は真ん中」とささやくと、打者は「真ん中はない」と判断。実際に真ん中が打球され、「次はアウトコース」とささやき、実際にはインコースだったりすると、打者は混乱する。

八、市民球団としてスタートし、最初の球団カラーはブルー。ルーツ監督の時に赤いユニホームが提案され、帽子のみ採用。日本一になった古葉監督時に赤ヘル軍団になる。
・高校野球の話
一、101年前の大正5年に始まったが、今年は98回大会。昭和18、19、20年は、開催されず。
二、中等学校野球として始まったが、第一回から五回大会までは、北海道からの出場はなかった。
三、これは、明治44年8月29日から9月22日まで、東京朝日新聞が22回にわたり「野球と其の害毒」と題した新渡戸稲造、乃木希典等の記事を連載したことが、原因の一つ。
四、新渡戸稲造(連載第一回目)「野球という遊戯は悪く言えば、中着切りの遊戯、対手を常にペテンに掛けよう、計略に陥れよう、ベースを盗もうなどと眼を四方八方に配り神経を鋭くしてやる遊びである。ゆえに米人には決してできない。」

・オバマの広島訪問
一、オバマの訪問が核軍縮の契機になることを期待する。
二、しかし、原爆に対する謝罪がなかったのは遺憾に思う。

【第803回】
演題：「工業炉とその国際基準化に係わって」
日時：平成28年11月4日14時15時30分
12人出席
講演者：竹内 修(昭和37年工学部鉱山工学科卒)
略歴：昭和37年4月石川島播磨重工業入社、工業炉事業部に配属、産業機械事業部を経て、最終は産業機械事業本部で定年。定年後は、(一社)日本工業協会勤務。
講演内容：
・工業炉について
一、工業炉は一般的に「熱を使って物質を変化させる設備」と定義されるが、工業界は裏方でありニッチの設備である。北大の方にも炉について知っていたりだか、本日お話しをする。
二、本題の前に趣味などのお話。高校時代からサッカーが好きで、大学時代も北大サッカー部に籍を置き、現在も楽しんでいる。今年も北大サッカー部の全国交流会を開催した。
三、その他、アマチュア無線もやっていて、無線局も持っている。



竹内修氏

うやく5カ国の条件を達成、最終的には仏、独、カナダも参加。
十四、議長国、幹事国共に日本が取得。
十五、現在Pメンバー15か国、Oメンバー8か国
十六、工業炉の安全関係ISO13577の3件、効率エネルギー消費関係ISO13579の4件を発効。
十七、日本のエネルギー消費は、年間4億3千万KL(原油換算)、内訳は、産業用45.3%、(内工業炉8%)、運輸用23.3%、民生用31.4%、産業用、運輸用は減少傾向にあるが、民生用は増加の一途。
一八、日本の発電量は、年間9500億KWH。
十九、日本自動車のエンジン効率、ガソリン車で、20～30%、ディーゼルで35～45%であるが1名乗車の乗用車では1%前後に低下する。

四、工業炉とは、高温(1000～3000度)の釜の中で、鉄やアルミなどの金属に熱を加えて加工するための施設。
五、工業会全体で2000億円程度の売り上げで、数人の会社からIHIのような大企業までいろいろである。
六、日本の工業炉製造会社は105社、設置炉3万基とされている。
七、熱源としては、バーナー、電熱であるが、最近マイクログ波やプラズマも用いられている。
八、工業炉の排ガスは、熱交換器で回収されているが、エネルギー多消費型の施設である。
九、また、SOX、NOX、CO2の他、フッ素系、シアン系も排出する公害発生施設でもある。
十、現在の高炉は、容積3千～5千m³で1基数百億円程度で、一日に鉄鉄を3千から一万トンを生産する。
十一、その他に、鍛造用加熱炉やアルミ溶解炉、熱処理炉等がある。
・標準化について
十二、2008年、日本の提案で、ISO/TC244が立ち上がる。
十三、当初の日本、米国、ベルギー、他韓国、豪州の参加を得て、よ

【第804回】
演題：「家庭菜園35年―見果てぬ夢を追って」
日時：平成28年12月2日14時～16時
14人出席
講演者：平田更一(昭和43年理学部生物学科卒)
一、家庭菜園は、娘が生れた時始めた。前半は、経験論、後半は農業論。
二、始めた動機は、昭和55年当時、住んでいた所の生ごみ収集が月一回であったため、生ごみの処分。
三、農業体験は皆無。市に同好会があり、一から教えてもらう。
四、同好会は30人ほどいたが、現在は18人。リーダーは農業経験者。
五、昔はほぼ毎月あったイベントが、現在は2月の竹の子掘り、11月の収穫祭、12月の忘年会程度。
六、当600坪の菜園が、現在は200坪。有機、無農薬は維持し



平田更一氏

・日本農業の課題
十四、農業の過剰使用、有機農業の少なさを、農産物への品質保証がない、後継者不足、種子の海外支配への未対策、HACCPの未普及、GAPの立ち遅れ。
十五、赤とんぼやミツバチの減少の要因とされ、欧州ですでに禁止されているネオニコチノイドに対する規制も緩い。
十六、農水省は、農作物輸輸出額の予算を4000億円から一兆円とするとしているが、この間の具体的道筋が明確になっていない。
十七、ICT化がすすんでいない。
十八、1ha当たりの収量が少ない。



何とかかなる！やればできる！



欧州でのマネジメント経験から



社内でのゴルフコンペ表彰式にて(本人は最前列中央)

NTTコミュニケーションズ(株) 取締役 クラウドサービス部長
(前 NTT Europe Ltd. 代表取締役社長)

森林 正彰 (S59 工・電子)

私は2016年6月、欧州での7年間の勤務を終え約10年ぶりに日本に帰国した。入社して32年間の勤務で海外勤務(米国、香港、ロンドン)が16年、気が付けば会社生活の半分が海外勤務になっていった。もちろん最初から海外での勤務を希望して入社をしたわけではない。私がNTT(当時の日本電信電話公社)に入社したのは1984年。その翌年にNTTは民営化したが、規制上、国際事業に参入することはできなかった。そして中学の時から英語も苦手で嫌いだった私がこれほどまでに海外勤務をすることになるとは、想像もしていなかった。

● 語学留学からのスタート

高校、大学ではハンドボール部に所属し、部活動は一生懸命やっていた。残念ながら勉強には熱が入らず「将来のために英語をやっておこう」なんて考えたこともなかった。(今になって後悔しているが...) 英語をやるきっかけとなった

たのは1988年から1989年にかけて行かせてもらった米国留学であった。英語のできない私を無条件で受け入れてくれたのはニューヨーク州の田舎にある小さな大学。日本人は隣の大学の教授家族と他の学部にはいた女の子のみ、結果的には英語を勉強するには抜群の環境だった。英語の苦手な私に先行投資をしてくれた会社には大いに感謝しているし、手前味噌ではあるがその先行投資にも十分お返しできたと思っている。帰国して10年間は国内で働いたが、海外で仕事をやるチャンスをもたらしたのは1998年。当時、少額出資をした米国の会社への出向であった。米国コロラド州で5年間勤務の後、日本に帰って3年間勤務、その後は香港、ロンドンと立て続けに海外勤務が約10年続くことになる。海外勤務を振り返れば「私の履歴書」が書けるほど(言い過ぎか...) 色々な経験をしてきたが、ここでは直近の欧州での勤務経験について述べていきたい。...

● 香港からヨーロッパへ

NTTヨーロッパへの就任の話があったのは、2009年5月後半。香港の現地法人社長として2年半経過した時だった。香港での業務は本当にエキサイティングで

あった。当時、7年連続して25%以上の成長を遂げていた「成長株」。そして社内での逆風の中、自前のデータセンタを構築すると言う野望を実現しオープンニングセレモニーを行い「さあ、これから」と言う時期であった。ヨーロッパ転勤の話が、まさかこのタイミングで来るとは思っておらず「もつと香港で頑張りたい」と言う気持ちも強かった。一方の欧州は、色々な国を統括することになるので、言葉は悪いが動物園をマネージする感覚。同じ欧州の国でも似て異なる国々であり、言葉も違えば考え方もカルチャーも違うし対立も多い。おまけに会社はけっこう大

変な経営状況で、行けば相当に苦勞することは分かっていたが気持ちを切り替えてチャレンジすることにした。(正直言うと欧州に住んでみたい、と言う興味も大いにあったのだが。)

● 企業合併のチャレンジ

着任して最初に不思議に思ったのは会社が2つあったことだった。昔からのNTTの流れをくむ、ちよつとお堅いネットワークの会社と、2000年に買収した米国ベンチャー系の会社(私が98年に出向した会社)の流れをくむ柔軟な考え方のホスティング(クラウド)事業の会社。私の任務はその両社の社長であった。欧州ではまだ小さな弊社が2つの異なる会社を運用するのは明らかに非効率的であるが、両社はカルチャーも社内雰囲気も全く異なる会社であり統合は簡単ではなかった。多少の不安を感じながらも「絶対に統合すべき」と言う信念と「何とかかなる!」と言う樂觀的思考を持って即決した。紆余曲折はあったものの統合はまずまずスムーズに進んだ。日本からの出向者も半減し現地社員を採用して欧州マーケットで勝負ができるように体制を整えた。極力、今まで頑張ってくれた社員を残して活用しようと思いが、やはり会社を去って

もらうケースも出てくる。日本では経験のない「首切り面接」は非常にタフだった。ただ、会社を去ってもらった社員からFacebookで友達申請をしてもらえることもあり、非常にうれしく思った。やはりどの国でも友好な人間関係と言うのは大事であり、禍根を残さずに会社のファンのまま円満退社をしてもらうことの重要性を感じたものである。

● さらにグローバルビジネスを目指して

欧州7年間の勤務は公私ともに非常に充実していた。会社は大きく成長、その後いくつかの欧州の会社も買収することとなり、現地企業のお客さまも増えてきた。今回の日本への転勤で7年間苦楽を共にした仲間と離れるのはつらかったが、日本に戻ってきてからも流は続いている。プライベートでも、ロンドンオリンピックをはじめ、ウィンブルドン、ゴルフの全英オープン、そしてラグビーワールドカップなど、大好きなスポーツ観戦や欧州各国の観光も楽しませていただいた。それまで全く興味なかったクラシックコンサート、ミュージカル、博物館、美術館などにも足を運び、ボランティア活動では父親の故郷であるロンドンの福島県人会で活動をさせて



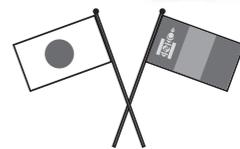
ロンドンの福島県人会「ロンドンしゃくなげ会」でのボランティア活動

いただいた。(もちろん北海道人にも参加したが...) 同じイギリスで知り合った異業種の方々との交流は今後も大事にしていきたいと思っている。

私の目指すのは、「日本の良さを生かしたグローバル企業」である。米国、香港、欧州、そして日本における経験から「やればできる」と言う確信が持てるようになってきた。品質、人材育成、誠実さ:「日本の良さ」はたくさんある。再び多くの日本企業が世界で活躍することを夢みている。そして、北大の在学、卒業生の皆さんにも、海外で大いにチャレンジしていただきたいと心の底から思っている。

伝統のアスコット競馬も経験





私とモンゴル

2年間の駐在から感じること

JICAモンゴル事務所
所長 佐藤 睦
(H2・法卒)



国会議事堂のチンギス・ハーン像前にて

みなさんはモンゴルに
対してどんなイメージを
お持ちでしょうか？白鵬
や日馬富士といった大相
撲力士の活躍、チンギス
ハーン、どこまでも続く
美しい草原とそこに暮ら
す遊牧民たち……という感
じでしょうか？

近年モンゴルは石炭、
銅、金など豊かな鉱物
資源の開発を背景に飛躍
的な経済成長を遂げ、ウ
ランバートルには近代的
な建物が立ち並び、車の
数も飛躍的に増加し、お
洒落なカフェやレストラン
なども増えてきていま
す。

一方で貧富の格差の拡
大、資源価格の下落によ
る不況と失業者の増加、急速な開
発による環境破壊などの問題が大
変深刻になっています。

特にウランバートルの大気汚染
は世界でも最悪レベル。北京より

も深刻といった報告もあり、冬な
どはマスクなしでは外を歩けませ
ん。

このような中、JICAは技術
協力、無償資金協力、円借款、青
年海外協力隊の派遣といったOD
A事業を実施し、持続的な社会・
経済開発に向けたモンゴル政府の
取り組みを支援しています。私は
その現地事務所の代表として、モ
ンゴル政府関係者との交渉・協
議、各プロジェクトの計画策定や
実施監理などを担っています。

また最近ではモンゴルでのビジ
ネスの可能性に関心を寄せる日本
企業も増え、エネルギーの需要
増、中間所得層の拡大などを背景
に、太陽光や風力発電などの再生
可能エネルギー関連への投資、
野菜栽培やエビの養殖、1000円
ショップの展開等々が目立ちま
す。JICAはこのような日本企
業に対してさまざまな情報を提供
しているほか、将来のビジネス
パートナーを育成するために、モ
ンゴル企業に対しても経営管理セ



建設ラッシュが続くウランバートル市内

こちらに来て驚いたことの一つ
が、日本語を話せるモンゴル人が
とても多いということ。それも信
じられないくらい上手な人が沢山
いるのです。民間はもちろん、役
人と協議する時も日本語ででき
てしまうことがあります。日本への
留学生数は人口比ベースで世界
一。日本文化や日本の最新技術へ
の関心も強く、これほどの親日国
は他にないでしょう。日本人とし
て大変嬉しいのですが、交渉など
の場面ではうっかり内緒話ができ
ないほどです。

それにしてもなぜこんなに日本
語が上手なのか？ 聞いてみる
と、日本語に限らず、英語、ロシ
ア語、韓国語なども大変流暢に話
す人が多いよう。モンゴル人の知
人によれば、「これがモンゴル人の
生きる術。地理的にロシア、中
国といった超大国に挟まれ、その
時代時代で大国の意図に翻弄され
ながらも何とかやってきた。周辺
国と上手に付き合っていくために
は外国語は必須なんだ。」とのこ
と。民族や国家が存続するための
言葉の重みが違います。

現在の空港はロシ
アの支援で1957
年に建設されたもの
ですが、増加する旅
客数に対応できなく
なりつつあり、また
立地条件が悪く、安
全性と効率性に課題
があることからこの
プロジェクトが始ま
りました。モンゴル
の冬は最低気温はマ
イナス30℃、コンク
リートは打てず、土
木や建設工事は難しいですが、工
事は順調に進んで、旅客ターミナ
ルや滑走路はほぼ完成。JICA
は新空港の運営に関心を寄せる日
本企業の支援もしています。



モンゴルで活動する青年海外協力隊

最後にモンゴル
各地で活動する青
年海外協力隊員を
紹介します。小学
校教師、看護師、
理学療法士などのリハビリ、ス
ポーツ指導などの分野で約60名の
日本の若者（協力隊員の約6〜7
割は女性）が活躍しています。地
方はインフラも整っておらず生活
条件も厳しいのですが、一切不満
など聞いたことがありません。彼
ら彼女らこそ、将来の日本とモン
ゴルの強い架け橋になってくれる
でしょう。

私はこの2年間でモンゴルに
どっぷり浸かりました。彼らが寄
せる日本への期待にできるだけ応
えていくのはもちろんですが、私
もモンゴルからもっと学びたい
し、何より日本側のモンゴルへの
関心をもっと高めたい、そんな気
持ちでいます。

モンゴルの伝統的な生活形態で
ある「遊牧」は、まさに自然と一
体となった営みです。季節ととも
に移動し、余計な物は一切持たず
かつ何も残さない。この営みは極
めてシンプルでエコそのもの。

一旦都市に移り住んだ人の中に
もまた遊牧に戻る人がいるのもど
こかで納得できます。都市の住民
も夏には長期の休暇を取り、家族
や友人と郊外の自然の中で過ごす
機会を持ちます。

時々、幸せなのは一体どっちだ
ろう？と思うことがあります。

もちろん日本には日本の良さがあ
るわけですが、自分のこれまでの
人生を見つめ直す沢山の示唆をモ
ンゴルは与えてくれていて、とて
も心地よい経験をしています。み
なさんもぜひ機会があればモンゴ
ルに来てみてください！



現在建設中の新ウランバートル国際空港

モンゴルは1990年に民主
化、市場経済化を果たして以降、
4年ごとの総選挙の度に必ず政権
交代が起きています。その際、閣
僚は変わる、省庁の役人は次官や
局長といった幹部のみならず、引
き継ぎなどはないまま課長や担当
者までもが入れ替わってしまい、
その度に一から説明を余儀なく
されてきました。特に新空港案
件はモンゴル史上最大のプロジェ
クトでもあることから注目度が高
く、政治家をはじめ、多くの関係
者の思惑に翻弄され、その度にプ
ロジェクトの意義やJICA事業

モンゴルの伝統的な生活形態で
ある「遊牧」は、まさに自然と一
体となった営みです。季節ととも
に移動し、余計な物は一切持たず
かつ何も残さない。この営みは極
めてシンプルでエコそのもの。

一旦都市に移り住んだ人の中に
もまた遊牧に戻る人がいるのもど
こかで納得できます。都市の住民
も夏には長期の休暇を取り、家族
や友人と郊外の自然の中で過ごす
機会を持ちます。

時々、幸せなのは一体どっちだ
ろう？と思うことがあります。

もちろん日本には日本の良さがあ
るわけですが、自分のこれまでの
人生を見つめ直す沢山の示唆をモ
ンゴルは与えてくれていて、とて
も心地よい経験をしています。み
なさんもぜひ機会があればモンゴ
ルに来てみてください！



モンゴルの遊牧風景

南の島の公務員

鹿児島県伊仙町役場未来創生課 松岡由紀



樹齢300年を超えるガジュマルの木

◆なぜ徳之島に？

2013年に5年間の海外生活を終え、日本へ帰国したばかりの私は、なるべく早く東京を脱出して、英国での地域再生の経験を生かしながら田舎暮らしを実現させようと考えていました。今でこそ田園回帰はある種のステータスのような風潮もありますが、当時はそれほど情報がある訳もなく、結局は仕事で巡った日本各地のご縁をつなげて、高知、宮城、愛媛、そして徳之島と移住先候補を絞って行きました。

それぞれの土地には風土に根付いた人々の住まい方があり、長い年月をかけて編み出された生活文化の豊かさや自然の懐の深さについて実感する日々でした。広い畑や古民家、東京の生活とは比較にならない生活維持費と豊かな地域資源、どの土地も魅力的だと思えました。ではなぜ徳之島に？

今振り返ると、最終的にはこの島の人々との目には見えない強いつながりが、私と家族をこの土地へ導いたことに気が付きます。私



(H4農・林産)

【プロフィール】
東京都目黒区出身。1992年農学部林産学科卒業。札幌市内の環境コンサルタントを経て2000年Yale大学環境スクール卒。英国で地域再生NGOに勤務し2003年帰国。2005年に徳之島へ移住し、2006年より伊仙町勤務。
・著書(分担執筆)
「鹿児島環境学Ⅲ」(南方新社)、「シリーズ田園回帰④交響する都市と農村」(農文協)

にとつては「磁場」としか表現できない、この島の持つ強烈なエネルギーを本能的に感知した自分が移住という決断を下したのだと思います。

◆徳之島とは

この島は周囲約80km、面積248km²、奄美群島の中央に位置する亜熱帯気候の島で、人口は約2万3千人。行政区分では南部の伊仙町、西側の天城町、東側の徳之島町3町からなり、「長寿」「子宝」「闘牛」「五つ子ちゃん」などで聞いたことがある方もいらっしゃると思います。特に私の住む伊仙町は、人口約6千人に過ぎない小さな町ですが、かつて長寿世界一を二人も輩出し(泉重千代翁、本郷かまと嫗)、合計特殊出生率は2期連続日本一で、日本の平均が1.46(2015年)であるのに対し、2倍近い数値2.81を誇ります。

歴史的には、2006年に国指定の史跡となった「カムイヤキ遺



「100種類の野菜を食べて100歳まで長生きしよう」との願いを込めて造られた直売所「百菜」

2018年夏に登録されます。このように小さな島の小さな自治体ですが、世界にも誇れる特徴が数多くあり、私はそこで公務員として働いています。

◆島の公務員

最初に関わった仕事は、交付金事業の一環として健康増進施設と公設直売所の立ち上げに関わる仕事でした。長寿・子宝の島ゆえに地産地消の意義を広める必要があります。奄美群島最大規模の直売所内の間取り決定、出荷者の募



子宝の島・徳之島の子ども達

集、経営母体の理念作り、そして経営。これまでの仕事人生でも最もエネルギーを使った仕事となりました。経営に関しては、面識のあった三重県の「モクモク手作りファーム」の専務と社長に何度も島へ足を運んでいただき、経営の何たるかを一から教えていただきました。設立から8年目を迎えた徳之島内外に認知され、愛される拠点となったことは仕事冥利に尽きます。

その後は専門の農業を生かして奔走してきました。米国留学時代にお世話になった元JICA職員の方に、ブラジルで40haもの有機コーヒー農場を経営する北大O B・鈴木功氏を紹介していただき、栽培北限に近い徳之島で国産コーヒー栽培にチャレンジしました。

現在は1年半の育休を経て、伊仙町役場未来創生課で政策立案の仕事に就き、伊仙町の強みを補強し、発信する仕事を担っています。丸の内大学で講演し、ビジネスマン向けの徳之島ツアーを組んで島を紹介したり、東



老若男女が熱狂する徳之島の闘牛

大から15名のゼミ生を受け入れて、島の高校生向けキャリア教育なども行っています。そうした取り組みで現代の都市生活者のニーズも直につかめるようになりつつあります。

都市部の人の中には、物理的・精神的に閉塞感を感じている方が増え、徳之島での暮らしや働き方にニーズがあることを実感します。私のような完全移住に限らず、二地域居住やリモートワークを進めることで、徳之島のような離島の人々にも都市部の人々にも、交流から生まれる化学反応が互いの人生にポジティブな変化を与えるものと確信しています。

◆教育環境の整備を

現在の仕事で大きな柱として進

めている「子宝日本一の伊仙町へ学習支援センターを」というプロジェクトは、企業版ふるさと納税の認定も受けました。離島であるが故の職業選択の幅の狭さ、大学生がいけない事実、そして将来へのモチベーションが持てないが故にポテンシャルを伸ばし切らずに島を離れて行く子どもたち。わが子の成長につれ直面する教育環境の壁にぶつかる中で、町として環境を整備しなくてはならないと考えました。

高い地域性が生む人の繋がりが、本物の自然環境に囲まれた徳之島は、ほんの少しの戦略とスキルアップのシステムがあれば、これほど人間形成に有利な場所はないと確信しています。このような仕組みと体制は、移住を考える子育て世代のハードルを下げることになると思います。

日本屈指の子育て力・地域力、固有な自然環境、そしてそれら風土により作り上げられた伝統文化と暮らしが息づくこの島に住まわせてもらっているからこそ、残りの仕事人生は子どもたちへの支援に尽力したいと思っています。世界へ羽ばたく人材として、或いは大きな野心と技能とプライドを持って島に帰って来る若者が育って行くことが、これからの夢と目標です。



スイスのローヌ氷河
スイス実習のメインの氷河。氷河研究に関する実習を毎年行っています。



研究室全員の写真
観測だけでなく、化学分析やモデルを用いて氷河のこれからや過去の気候などの研究も行っています。

知識とスキルが必要になるため、北大には専門の授業ももちろんありますが、その中でもユニークなのがスイスで行われる実習です。ローヌ氷河という氷河で調査を経験したり、専門家から講義を受けたりすることが出来ます。そして何より、世界各国から氷河研究を目指す学生が集まる貴重な場になっています。私もこの実習で多

く学びと出会いを得ました。
◎南米パタゴニア
グレイ氷河に挑む
私の研究対象は、多くの人が訪れる観光地としても有名なパタゴニアのグレイ氷河です。この氷河は、末端部分が湖や海に崩れ落ちるカールビングという現象がみられる氷河です。

グレイ氷河は、ほとんどの年で末端が後退を続けていますが、特に1998年から1999年に大規模な後退が起きました。この原因が何によって引き起こされたのか研究することは、氷河が今後どのように変化していくのかを解明するために重要です。また、淡水に流れ込む氷河の挙動についてはまだまだ知られていない事が多

いので、私はグレイ氷河に挑む事にしたのです。
今の段階ではまだ現地には行っていませんが、行く前にやることは山ほどあります。フィールド研究には万全の準備が必要です。現地での観測計画を整理しつつ、関連論文を読み漁っています。現地では、GPSを用いて標高を測定することで、氷河の厚さの変化を記録します。また、タイムラプスカメラを設置し、氷河の流れを撮影します。さらに、氷河の末端が浸かっている湖の水温や水深なども測定し、その影響を評価する計画です。
◎氷河に立つ日
調査は約1ヶ月間に及び、その間は氷河の上にテントを張って、自炊生活をします。先輩によると、観測は夏季に行うため、そこまで寒くはなく、天気がいい日は、溶けた氷が氷河の上を小川となって流れるそうです。そこで洗濯もしますが、水温は0℃近いのでシャワー代わりは少々キツイようです。しかし、現地では必要不可欠なデータは研究には必要不可欠ですし、なにより自分の研究したいことを直接観測しに行くことができるのが楽しみです。
2017年の春、グレイ氷河に立つ日を心待ちにしています。



氷河の変動を研究する

グレイ氷河の先端
氷河の末端が水に使っている部分では、氷河が崩れ落ちてくる危険性もあります。

よく「氷河ってことは流水の研究もするのですか？」と聞かれますが、流水と氷河は別のもので、雪が山の上に積もって氷になり、自らの重さで非常にゆっくりと山裾へ流れているのが氷河です。流水は川の氷が凍って海に流れ出たものです。日本にはごく一部の高山にあります。が、身近に氷河はほとんどありません。
一方でスイスを始めとするヨーロッパには氷河が身

◎氷河研究の重要さと面白さ

北海道大学大学院環境科学院
氷河氷床グループ
修士課程1年 山本淳博 (やまもと よしひろ)



北海道江別市生まれ。北大理学部地球惑星科学科入学後、現在は環境科学院地球圏科学専攻雪氷寒冷圏コースの修士1年。科学技術コミュニケーション養成講座(CoSTEP)12期生。氷河の後退のメカニズムについて、氷河の氷河と湖の環境の関連性を研究中。趣味は旅行と写真・映像撮影。

◎フィールドの魅力に誘われて

私の所属している環境科学院氷河氷床グループは、世界中の氷河を研究対象としています。特にグリーンランドや南米パタゴニアは研究室として毎年観測していますが、ヒマラヤや南極に行くこともあります。私は学部4年次には、室内実験を行う研究室に所属していました。しかし「変わった場所に行きたい」という思いが勝り、大学院からこの研究室に所属しています。
氷河を研究するためには多くの

近にあり、飲水として使われたり、観光地として整備されていたりしています。しかし、雪崩を起すと大きな災害に繋がるため、研究が必要になります。日本と火山との関わりをイメージするとわかりやすいかもしれません。氷河研究の重要性は地域的側面に留まりません。地球温暖化によって氷河が溶けると、海面上昇が引き起こされてしまいます。地球環境に大きな影響を与えるため、今後の地球を知る上でも氷河の研究は重要なことです。このように氷河を研究していくことで地球規模の環境予測にもつながっていくのが研究していく上での面白さの一つだと思っています。

「校友会エルム」現状報告

―昨年6・1設立後、これまでの活動―



校友会エルム
事務局長
小泉 信隆

北海道大学を離れた多くの同窓生が、母校に対する回想と支援として、歴史ある部局別同窓会の構成から地区同窓会、そして連合同窓会を立ち上げてきました。北海道大学百四十年の歴史に刻まれる、こうした多くの功績はとてつもなく貴重で大きく、先人からの思いは脈々とつながっていると感ずます。

その連合同窓会をさらに発展的に校友会組織（以下「エルム会」と言います。）に切り替える動きは、時代に呼応した必然的な流れなのであります。エルム会の組織形成はより多くの力を結集して大学を支援することと理解しておりますが、これまでのご意見ではエルム会と既設同窓会との関係や会員としての取り扱いに十分整理や周知ができていないとの指摘

がまだまだ多いような気がいたします。しかし、小職から見ますとその指摘を否定するつもりは毛頭ありませんが、総意に対して今後時間をかけてご理解いただくしかないように感じております。

エルム会が基礎同窓会の支援なくして成り立たないのは論を待たず、エルム会が成立して何が変わったのかは一目瞭然、会員構成が変わりました。卒業生だけの構成から在学学生（学生・院生）とその保護者、さらには現職の教員、職員さらには元教職員も会員対象となりました。

このことよって、「エルム会＝オール北大」とあえて言わせていただければ、今後のエルム会の大学支援が今までの支援とは違うものになるとお考えいただけるものと思います。現時点での事務局の活動は、正にその視点でさまざまな支援整備の立案やルール作りを取り組んでいると理解していただければ良いかと思っております。

エルム会の設立については、フロンティア49号（H28年8月）

発行）にも掲載されています。

2016年1月の連合同窓会「在り方検討委員会」の答申後、設立準備委員会を経て6月1日に設立総会が開催され、同日の連合同窓会の解散とこれまでの事業・資産の承継が承認されました。

設立に至るまでにさまざまなご意見をいただき、数多くの方々のご理解と協力による満場一致の承認は歴史的な瞬間でした。その後、懇親会には多くの方々に参加し、出席者による未来を語るお話や応援団のエルムが披露されました。設立に携わった関係者と学生との語らいは随分盛り上がり、その光景こそ今後のエルム会を暗示していると感じていました。

多くの方々でエルム会の設立、さらには運営に携わってききました。事務局設立の一時期を担当した私としては、これまでを総括しても東京同窓会のお力添えは大きいと感じています。特に特命理事としてSLのごとくご尽力された伊藤洋様（東京同窓会特命理事）は特筆すべき方と今でも感じてい

ます。

石山会長を筆頭に連合同窓会からここまで「在り方検討委員会」、「設立準備委員会」と多くの方々

が参画され、将来を見越しての多くの提言がなされました。今後も多くの方々の参画をもって進められるものと信じております。

これから未来永劫、北海道大学が世界で輝くよう、オール北大としてお一人お一人の少しの力を結集していただければ、目的は必ずや実現すると考えます。

これまでの活動概要

■理事会活動

理事会はこれまで5回開催されました。普通、理事会は年に数回だと考えられますが、当理事会は早いペースで行われており、概要は次の通りです。

第1回理事会（H28年6月1日）
会長、名誉会長の選出、事務局の開設など必要最小限の組織体を審議し、エルム会第一回総会へ提出する原案を策定しました。

第2回理事会（H28年6月15日）
当面の課題について多くの時間の議論があり、監事監査規程が整備されました。在学生からは会費

ゆかないようですが、楽しみな具体性を持った案も示されています。

〈広報・情報処理委員会〉
会員登録システムの開発仕様をまとめ、さらにエルム会の告知版として発信していたホームページも近々リニューアルし、本格的な活動へ向けて準備が進められています。

〈就職・活動支援委員会〉
大学キャリアセンターとの連携や、OB・OGの積極的な支援登録を視野に入れ、就職支援の具体化を考えております。また、大学と企業との接続についても具体的な検討を進めています。



理事会の様子

第3回理事会（H28年8月29日）
理事会運営規程、職務権限規程の承認とともに総務担当副会長、事業担当副会長が承認され、課題の整理に伴い4委員会の設置（総務・企画委員会（9名）、組織・交流委員会（12名）、広報・情報処理委員会（9名）、就職・活動支援委員会（9名））が承認され、基礎同窓会等から推薦のあった39名の方が委員会委員として選任さ

第4回理事会（H28年10月12日）
各委員会の取り組み状況の報告とロゴマークの決定、新入生向けパンフの作成に向けて取り組みを強化することの承認がありました。また、基礎同窓会員の取り扱いと会員および会費規程についても議論されました。

■委員会活動

各委員会の方々には、各企業などで中枢のお立場の中、時間を割いてボランティアとして参画されており、事務局としてはただただ頭が下がる思いです。今後の多くの委員の方々への積極的な参画が待ち望まれます。

第1回委員長会議（H28年9月26日）
合同委員会が開催され、杉江理事の講演の後、当面の課題等それ



合同委員会の様子

第5回理事会（H28年12月9日）
規程関係では、個人情報保護方針を始め、来年度向けの代議員規程等が一部修正の上承認されました。また、新入生向けのパンフレット、新入生受け入れのデータベースの作成、ホームページのリニューアルなどが進められることとなりました。

第2回委員長会議（H28年12月19日）
新入生向けのパンフが承認され印刷に回されました。また、ウェブ会員登録、決済代行システムの導入、スマートフォンによる会員カードの仕様などについて審議しました。

〈総務・企画委員会〉
各種規程の検討、理事会への提案・制定、ロゴマークの制定などの検討と整備が進められています。

〈組織・交流委員会〉
会員の登録に向けて議論が進められていきます。大変ユニークな活動案が提案され、直ぐの実現とは



合同委員会後の懇親会

(一社)津田塾大学同窓会	<部及び委員会(理事会内)の構成> 総務部、企画事業部、広報部、大学支援事業部、情報管理部、総務委員会、財務委員会、会員委員会、企画委員会、会員サービス委員会、出版委員会、広報委員会、データベース委員会、ホームページ委員会、個人情報管理委員会、資料委員会 (11)
(一社)東京電機大学校友会	総務委員会、財務委員会、事業委員会、広報委員会、組織委員会 (5)
立教大学校友会	総務委員会、財務委員会、会報委員会、会館委員会、企画委員会、組織委員会、情報委員会、特別委員会 (8)
早稲田大学校友会 ##	総務委員会、財務委員会、事業委員会、広報・学術委員会、組織委員会、特別委員会 (6)
横浜国立大学校友会	総務財務委員会、企画委員会、HCD実行委員会、広報委員会、交流運営委員会、若手校友会、校友会費等検討プロジェクト、学生幹事会準備委員会 (8)
横浜国立大学 (一社)進交会	総務委員会、広報委員会、ホームページ委員会、文化厚生委員会、事業委員会 (5)
(一社)神奈川大学宮陵会	総務財政委員会、組織委員会、広報委員会、事業委員会、女性委員会 (5)
NUAL名古屋大学全学同窓会 #	<幹事会を構成する委員会> 事業委員会、財務委員会、名簿委員会、広報委員会、企画委員会、連携委員会 (6)
名古屋工業大学 (一社)名古屋工業会	運営委員会、会員増強委員会、広報委員会、連携強化委員会 (4)
立命館大学校友会	総務委員会、財務委員会、広報委員会、東日本大震災復興支援特別委員会、校友会設立100周年記念事業特別委員会、校友会「未来人材育成基金」募集推進特別委員会 (6)
近畿大学校友会	総会実行委員会、会則審議委員会、広報出版委員会、厚生委員会、事業準備委員会、国際交流委員会 (6)
関西学院同窓会	総務委員会、財務委員会、編集委員会、企画委員会、組織委員会、次世代委員会 (6)
北九州市立大学同窓会	表彰審査委員会、会長選考委員会、奨学金運営委員会、学生支援事業検討委員会、70周年支援募金同窓会実行委員会 (5)
(一社)福岡大学同窓会 有信会	総務委員会、組織委員会、事業委員会、広報委員会、IT委員会、女性委員会 (6)

(注) #は、幹事会の中に実行部隊である委員会を設置。##は、委員会と年次会の連携の下、事業活動を推進

【表11】 主な委員会の名称と設置している校友会等

委員会の名称	設置数	校友会等(大学名)
広報委員会	16	東北大学、電気通信大学、一橋大学、首都大学東京、学習院大学、上智大学、東京女子大学、津田塾大学、東京電機大学、横浜国立大学、横浜国立大学、神奈川大学、名古屋工業大学、名古屋工業会、立命館大学、福岡大学
財務委員会	13	電気通信大学、東京海洋大学、首都大学東京、学習院大学、上智大学、東京女子大学、津田塾大学、東京電機大学、立教大学、早稲田大学、名古屋工業大学、立命館大学、関西学院大学
総務委員会	12	一橋大学、首都大学東京、学習院大学、上智大学、津田塾大学、東京電機大学、立教大学、早稲田大学、横浜国立大学、立命館大学、関西学院大学、福岡大学
組織委員会	11	電気通信大学、東京海洋大学、学習院大学、上智大学、東海大学、東京電機大学、立教大学、早稲田大学、神奈川大学、関西学院大学、福岡大学
企画委員会	9	首都大学東京、学習院大学、東海大学、東京女子大学、津田塾大学、立教大学、横浜国立大学、名古屋工業大学、関西学院大学
事業委員会	6	東京電機大学、早稲田大学、横浜国立大学、神奈川大学、名古屋工業会、福岡大学
募金委員会	3	小樽商科大学、学習院大学、上智大学
会報委員会	2	小樽商科大学、立教大学
編集委員会	2	東京海洋大学、関西学院大学
ホームカミングデー実行委員会	2	東北大学、横浜国立大学
ホームページ委員会	2	津田塾大学、横浜国立大学
女性委員会	2	神奈川大学、福岡大学

会を設置している例が多い。また、募金(3)、会報(2)、編集(2)、ホームカミングデー実行(2)、ホームページ(2)、女性(2)の名称を付した委員会が複数の校友会等で設置されている。このほか、広報関係では出版、会報等の委員会が、財務関係では財務経理、資産管理等の、会員名簿関係では名簿発行、会員情報、個人情報管理等の、IT関係ではICT、IT整備、データベース等の、在校生支援関係では就職、学生支援、助成金支給、奨学金運営等の、校友会館関係では記念会

館協力支援、会館運営等の、国際関係では国際、国際交流等の、将来計画の検討関係では次世代、長期計画、NEXT100等の委員会がそれぞれ設置されている。B 部会の構成【表12】は、主要な校友会等における部及び部会の構成をまとめたものである。部会方式を採用している8つの校友会等について部又は部会の構成を見ると、総務(6)、広報(4)、財務(4)、組織(2)、事業(2)等の名称を付した部又は部会を設置している例が多い。

このほか、広報関係では編集、出版、会報編集等の部又は部会が、会員名簿関係では会員、名簿発行、会員情報、組織管理等の、関係ではネットワーク、IT管理等の、在校生支援関係では大学連携支援、学生支援、支援活動運営等の部又は部会がそれぞれ設置されている。

大きく様相が異なることが分かる。任意団体の場合、役員を構成する基本単位は、「会長―副会長」の幹部役員と執行部隊である理事、幹事、評議員、常任委員等の組合せによりA〜Hの8種類に分かれる。このうち、「理事―監事」が基本となるAタイプが14団体と最も多く、「幹事―監事」が基本となるFタイプがほぼ同じ13団体である。これは、伝統的な同窓会では、役員の基本が幹事であり、現在もその形式が踏襲されているものと考えられる。このほか、常

【表9】 校友会等の活動主体とその構成

活動主体	校友会の名称	活動主体の構成例
事務局のみ	筑波大学(一社)茗渓会、お茶の水女子大学(一社)桜蔭会、明治大学校友会、奈良女子大学(一社)佐保会 (4)	—
事務局+幹事会	東京大学校友会、中央大学学生会、東海大学同窓会、NUAL名古屋大学全学同窓会、京都大学同窓会(全学)、大阪大学同窓会連合会、広島大学校友会、EUA愛媛大学校友会 (8)	(注)東海大学同窓会及びNUAL(名大)では、幹事会の中に実行部隊である委員会を設置
事務局+委員会	小樽商科大学(公社)緑丘会、東北大学校友会、電気通信大学(一社)目黒会、東京海洋大学(一社)薬水会、一橋大学(一社)如水会、首都大学東京同窓会、(一社)学習院校友会、上智大学ソフィア会、東京女子大学同窓会、(一社)津田塾大学同窓会、(一社)東京電機大学校友会、立教大学校友会、横浜国立大学校友会、横浜国立大学(一社)進交会、(一社)神奈川大学宮陵会、名古屋工業大学(一社)名古屋工業会、立命館大学校友会、近畿大学校友会、関西学院同窓会、北九州市立大学同窓会、(一社)福岡大学同窓会有信会 (21)	<委員会の例> 総務委員会、財務委員会、会報委員会、企画委員会、組織委員会、IT整備委員会、募金委員会
事務局+年度会	(一財)慶應連合三田会 (1)	(注)連合三田会大会は、年度三田会の回りで開催
事務局+委員会+年度会	早稲田大学校友会 (1)	(注)稲門祭は、年次稲門会の回りで開催
事務局+部会	(一社)東京学芸大学同窓会、東京工業大学(一社)蔵前工業会、東洋大学校友会、(一社)日本女子大学教育文化振興振興会、(一社)法政大学校友会、関西大学校友会、九州工業大学(一社)明専会、琉球大学同窓会(8)	<部会の例> 総務部会、組織部会、財務部会、事業部会、広報部会、IT管理部会

(注)~~~~は私立大学、_____は公立大学、アンダーラインなしは国立大学である。

【表10】 主要な校友会等における委員会の構成

校友会	委員会の名称
小樽商科大学(公社)緑丘会	大学助成審査委員会、募金委員会、会報委員会、代議員選挙管理委員会、資産管理運用委員会、名簿発行委員会 (7)
東北大学校友会	連携推進委員会、広報委員会、ホームカミングデー実行委員会 (3)
電気通信大学(一社)目黒会	規則委員会、財務委員会、就職委員会、組織委員会、支部委員会、広報委員会、ICT委員会、学術委員会、記念会館協力支援委員会、100周年記念事業支援委員会、選挙管理委員会 (11)
東京海洋大学(一社)薬水会	組織委員会、財務委員会、企画運営委員会、編集委員会、保存委員会、調査研究委員会 (6)
一橋大学(一社)如水会	総務委員会、財務経理委員会、長期計画委員会、会館運営委員会、組織強化委員会、会員情報委員会、研修文化委員会、広報委員会 (8)
首都大学東京同窓会	総務委員会、企画委員会、広報委員会、財務委員会、組織整備委員会、情報管理委員会、イベント委員会、八雲クラブ委員会 (8)
(一社)学習院校友会	広報委員会、組織委員会、催事委員会、月例行事委員会、親睦委員会、学生支援委員会、講座委員会、助成金支給委員会、財務委員会、IT整備委員会、総務委員会、募金委員会、企画委員会 (8)
上智大学ソフィア会	<専門委員会> 総務委員会、財務委員会、広報委員会、事業企画委員会、組織委員会、募金委員会、国際委員会 <特別委員会> 新ソフィアンスクラブ委員会、NEXT100委員会 (9)
東海大学同窓会 #	<幹事会を構成する委員会> 組織委員会、企画委員会、資金委員会、会員情報管理委員会 (4)
東京女子大学同窓会	財務委員会、企画委員会、会員活動委員会、園遊会委員会、広報委員会 (5)

前号に引き続き主要大学における校友会等の動向の調査結果のうち、校友会、全学同窓会等の活動主体、役員体制、校友会館・校友サロン、校友会支部や登録同窓組織の設置状況を中心に紹介させていただきます。



東京同窓会 特命理事 伊藤 洋 (昭48・農生)

2・校友会等の調査結果(つづき) (4)活動主体

⑦校友会等においては、各種の事業活動を進めるに際しては、事業活動を分担しつつ推進する担い手として活動主体の整備が必要である。【表9】は、校友会等の活動主体とその構成をまとめたものである。この点、各大学の校友会等においては、活動主体として、事業活動の内容や大学と連携関係に応じて、①事務局のみ、②事務局+幹事会、③事務局+委員会、④事務局+年度会、⑤事務局+委員会、

会+年度会、⑥事務局+部会等の対応の種類がある。66大学の校友会等のうち、活動主体が明らかとなった43大学についてみると、③事務局+委員会が21大学(さらに他の方式と委員会との組合せが3大学)、⑥事務局+部会が8大学とこの二つの方式の導入している校友会等の例が多い。

個別の委員会の名称については、次の表11に譲るが、委員会の数では、学習院大学が13と最も多く、電気通信大学、津田塾大学の11、上智大学の9がこれに続き、6〜8の委員会を設置しているのが標準的規模である。委員会方式を採用している21の校友会等に加えて、他の方式との組合せで委員会を設置している3つの校友会等について、委員会の名称を調べた結果、【表11】のとおり広報(16)、財務(13)、総務(12)、組織(11)、企画(9)、事業(6)等の名称を付した委員

【表14】 校友会等の理事会等の員数

理事等の員数	任意団体(大学)	一般社団法人(大学)
10名以下	新潟大学(10)、大阪市立大学(8) <関西大学(6)>	名古屋工業大学(9)、日本女子大学(9)
11名～20名	弘前大学(13)、金沢大学(17)、山口大学(20)、長崎大学(11)、兵庫県立大学(11)<茨城大学(11)、熊本大学(12)、鹿児島大学(17)、北九州市立大学(20)、東洋大学(15)、明治大学(16)、近畿大学(15)、関西学院大学(11)>	小樽商科大学※(12)、慶応義塾大学※※(12)、お茶の水女子大学(15)、東京学芸大学(20)、東京工業大学(20)、電気通信大学(17)、一橋大学(20)、奈良女子大学(19)、神奈川大学(20)、福岡大学(20)
21名～30名	山形大学(23)、信州大学(21)、岡山大学(25)、東京女子大学(21)<富山大学(25)、京都大学(23)、大阪大学(29)、青山学院大学(26)、上智大学(28)、東海大学(26)、立教大学(23)>	筑波大学(25)、東京海洋大学(25)、九州工業大学(21)、横浜市立大学(27)、建國学院大学(25)、東京電機大学(27)、法政大学(29)
31名～40名	東北大学(39)、横浜国立大学(33)、首都大学東京(35)、名城大学(40)<東京大学(35)、名古屋大学(39)、神戸大学(36)、日本大学(36)>	
41名以上	広島大学(54)、愛媛大学(56)、同志社大学(44)、立命館大学(41)、龍谷大学(56)<九州大学(63)、琉球大学(55)、早稲田大学(84)>	学習院大学(50)

(注1) ()は、理事(又は幹事等)、監事等の役員合計
 (注2) < >は、幹事、評議員、常任委員等が役員を構成している大学
 (注3) ※の小樽商科大学は公益社団法人、※※の慶応義塾大学は一般財団法人

【表15】 校友会等の女性理事、監事等の数

員数	任意団体(大学)	一般社団法人(大学)
11名以上	<琉球大学(13/57)>	(1) 学習院大学(13/53) (1)
6～10名	龍谷大学(8/58)<青山学院大学(10/29)、上智大学(9/29)、九州大学(7/64)、立命館大学(7/44)、北九州市立大学(6/22)>	一橋大学(7/25) (1)
4～5名	横浜国立大学(5/37) <神戸大学(5/36)、東京大学(4/36)>	筑波大学(5/28)、東京学芸大学(5/25)、横浜市立大学(4/30) (1)
2～3名	大阪大学(3/30)、首都大学東京(3/38)、名城大学(3/43)、岡山大学(2/27)<中央大学(3/21)、日本大学(3/38)、立教大学(3/26)、明治大学(2/21)>	小樽商科大学※(2/15)、東京工業大学(2/23)、電気通信大学(2/19)、神奈川大学(2/23)、福岡大学(2/22) (5)
1名	東北大学(1/41)、山形大学(1/25)、山口大学(1/22)、愛媛大学(1/58)、兵庫県立大学(1/13)<富山大学(1/27)、名古屋大学(1/41)、東洋大学(1/17)、関西大学(1/9)、近畿大学(1/18)、関西学院大学(1/11)>	九州工業大学(1/24)、慶応義塾大学※※(1/15) (2)
0名	弘前大学(0/15)、金沢大学(0/19)、広島大学(0/55)、同志社大学(0/47)<茨城大学(0/13)、新潟大学(0/11)、京都大学(0/23)、長崎大学(0/12)、熊本大学(0/14)、鹿児島大学(0/19)、東海大学(0/28)>	名古屋工業大学(0/11)、東京電機大学(0/30)、法政大学(0/33) (3)

(注1) 共学の大学における女性の理事(又は幹事)、監事等の役員合計
 (注2) ()内は、女性役員数/役員総数
 (注3) < >は、幹事、評議員、常任委員等が役員を構成している大学
 (注4) ※の小樽商科大学は公益社団法人、※※の慶応義塾大学は一般財団法人

【表16】 女性の会長、副会長がいる校友会等

役員名	任意団体(大学)	一般社団法人(大学)
会長	琉球大学 (1)	<福岡大学> (1)
副会長	3名 中央大学(3/20)、立教大学(3/15) (2)	
	2名 九州大学(2/29)、上智大学(2/8)、日本大学(2/35)、立命館大学(2/10) (2)	
	1名 東京大学(1/16)、山口大学(1/1)、兵庫県立大学(1/3)、北九州市立大学(1/3)、青山学院大学(1/4)、明治大学(1/15)、名城大学(1/10)、龍谷大学(1/8)、関西大学(1/5)、近畿大学(1/10)、関西学院大学(1/10) (11)	電気通信大学(1/5)、学習院大学(1/5)<小樽商科大学※(1/4)、東京学芸大学(1/5)> (4)

(注1) 共学の大学のうち女性の会長(又は理事長)、副会長(又は副理事長)が就任しているもの
 (注2) ()内は、女性副会長数/副会長総数
 (注3) < >内は、理事長、副理事長が幹部役員となっている大学
 (注4) ※の小樽商科大学は公益社団法人

これは、一定規模以上(会員1万人から10万人程度)の校友会組織の場合、機関設計としては「社員総会+理事+理事会+監事」が標準であり、理事の数も年間4回程度の理事会への本人出席が必須である等を考慮するといたすに多くなることが多いと考えられる。

②女性の役員への登用
 A 女性理事、監事等の数
 【表15】は、主な校友会等における女性の役員(理事、監事等)の員数をまとめたものである。66の大学の校友会等のうち5つの女

子大学と理事、監事等の氏名・性別が不明の6つの大学の校友会等を除く55の校友会等について調査したものである。

その結果、女性の役員が1名以上いる校友会等は、全体の7割以上の41に達していることが判明した。このうち最も女性役員が多い校友会等は、琉球大学同窓会(評議員及び監査員)と(一社)学習院校友会(理事及び監事)のそれぞれ13名である。これに、青山学院校友会(10名)、上智大学ソフィア会(9名)、龍谷大学校友会(8名)、一橋大学(一社)如水会(7

名)、九州大学同窓会連合会(7名)、立命館大学校友会(7名)、北九州市立大学同窓会(6名)が続いている。女性役員4～5名の階層では、任意団体で3、一般社団法人で3、女性役員2～3名の階層では、任意団体で8、一般社団法人で5、女性役員1名の階層では、任意団体で11、一般社団法人等で2の校友会等がある。

なお、女性役員が1名以上いる41の校友会等と女性役員がいない14の校友会等の違いについては、女性の代表を選出しやすい看護系の同窓会の有無、校友会等の理事

等への若手の登用度合、卒業生、教職員の女性比率等が関わっていると考えられる。

B 女性の会長、副会長等
 【表16】は、女性の会長(又は理事長)、副会長(又は副理事長)がいる校友会等をまとめたものである。66の大学の校友会等のうち5つの女子大学と会長、副会長の氏名・性別が不明の6つの校友会等を除く55の校友会等について調査したものである。その結果、女性の会長又は副会長が1名以上いる校友会等は、全体の約4割以上の23もあることが判明した。

任委員が絡むHタイプの「会長+副会長+常任委員+監事」には6団体、評議員が絡むBタイプ、Cタイプ、Dタイプの「会長+副会長+〇〇評議員+〇〇監事」には合計8団体が該当する。

これは、永年に亘って大学の組織や総会議で評議員が絡むものが多いことによるものと考えられる。

一方、法人格のある校友会等では、一般社団法人では、「会長+副会長+理事+監事」とその変形の「理事長+副理事長+理事+監

事」の2種のみで19団体がこれに該当する。

また、一般財団法人では、総会がなく評議員会が設置されることから、「会長+副会長+理事+評議員会+監事」又は「理事長+副理事長+理事+評議員会+監事」が役員構成の基本であるが、慶應連合三田会のみが該当する。

校友会組織は、卒業生、教職員、在学生等の個人会員で構成され、会費収入を基本に運営されるので通常は一般社団法人がなじむが、慶應連合三田会は、地区、海

外、年度、職域、職種、ゼミ、サークル等さまざまな塾員の同窓会組織「三田会」を包括する組織で、会員に対して会費等は課さず、毎年10月に行われる連合三田会大会の大会券の販売や卒業生の所属する企業等からの協賛金(2016年は324社)が収入の基本であり、大会の収益は大学への寄付金等に充てられていること等運営が異なっていることから、2013年に一般社団法人ではなく活動実態になじむ一般財団法人への移行の途を採用したものと考えられる。

①理事等の員数
 【表14】は、主な校友会等における理事等役員の員数をまとめたものである。任意団体の校友会等の場合、理事、幹事等の役職名や員数に特段のしびりがなく、ことから、体制が複雑かつ多人数になりがちで、早稲田大学の84名を筆頭に50名以上の校友会等が6大学もある。

一方、法人化されている校友会等については、学校法人全体を統括する学習院校友会(50)を除いて理事は30名以下となっている。

【表12】 主要な校友会等における部及び部会の構成

校友会	部及び部会の名称
(一社)東京学芸大学同窓会	<部(理事会内)の構成>総務部、会計部、研修部、調査部、広報部
東京工業大学(一社)蔵前工業会	総務・経営企画部会、編集部会、会員部会、ネットワーク部会、大学連携支援部会、科学技術部会
東洋大学校友会 +	<常任委員会の構成>総務・広報部会、財務部会、組織・事業部会
(一社)日本女子大学教育文化振興桜楓会	<部門、部(事務局内)の構成> 管理部門—総務部、会員部、財務部 共益部門—会員サービス部、出版部 収益部門—施設サービス部、実業部 公益部門—大学支援事業部、文化事業部、人材銀行、福祉厚生部
(一社)法政大学校友会	総務部会、組織部会、財務部会、事業部会、広報部会、IT管理部会
関西大学校友会 ++	<部(常議員会内)の構成>総務部、事業部、広報部、組織部、学生支援部、財務部
九州工業大学(一社)明寿会	総務部会、組織管理部会、広報部会、会館運営部会、東京センター運営部会、学生育成運営部会、支援活動運営部会、同窓の絆運営部会
琉球大学同窓会	総務部会、記念誌部会、祝賀行事部会、芸術部会、会報編集委員会

(注) +は、常任委員会の中に実行部隊である委員会を設置。++は、常議員会の中に実行部隊である部を設置

【表13】 主要な校友会等の役員体制

	役員体制	任意団体	一般社団法人
A	会長-副会長-理事-監事	弘前大学同窓会、東北大学校友会、山形大学校友会、新潟大学全学同窓会、金沢大学校友会、信州大学校友会、岡山大学全学同窓会、山口大学同窓会、兵庫県立大学校友会、東京女子大学同窓会、名城大学校友会、同志社校友会、龍谷大学校友会、関西学院同窓会 (14)	お茶の水女子大学(一社)桜蔭会、電気通信大学(一社)目黒会、東京海洋大学(一社)薬水会、九州工業大学(一社)明寿会、(一社)学習院校友会、(一社)津田塾大学同窓会、(一社)法政大学校友会、(一社)神奈川大学宮陵会<小樽商科大学(公社)緑丘会※、筑波大学(一社)茗溪会、(一社)東京学芸大学同窓会、東京工業大学(一社)蔵前工業会、一橋大学(一社)如水会、名古屋工業大学(一社)名古屋工業会、奈良女子大学(一社)佐保会、横浜市立大学(一社)進交会、(一社)東京電機大学校友会、(一社)日本女子大学教育文化振興桜楓会、(一社)福岡大学同窓会有信会 (19)
B	理事-評議員-監事	横浜国立大学校友会、首都大学東京同窓会、大阪府立大学校友会 (3)	(一財)慶応連合三田会※※ (1)
C	評議員-幹事-監事	名古屋大学全学同窓会、京都大学同窓会、長崎大学全学同窓会、鹿児島大学同窓会連合会 (4)	—
D	評議員-監事	琉球大学同窓会 (1)	—
E	理事-幹事-監事	千葉大学校友会、広島大学校友会、EUA愛媛大学校友会 (3)	—
E	理事-幹事-監事	千葉大学校友会、広島大学校友会、EUA愛媛大学校友会 (3)	—
F	幹事-監事	茨城大学同窓会連合会、東京大学校友会、富山大学同窓会連合会、大阪大学同窓会連合会、神戸大学校友会、九州大学同窓会連合会、熊本大学同窓会連合会、北九州市立大学同窓会、中央大学学生会、東海大学同窓会、早稲田大学校友会、立命館大学校友会、近畿大学校友会 (13)	—
G	-監事	大阪市立大学同窓会、明治大学校友会 (2)	—
H	常任委員-監事	青山学院校友会、上智大学ソフィア会、東洋大学校友会、日本大学校友会、立教大学校友会、関西大学校友会 (6)	—

(注1) 幹部役員は会長、副会長が基本であるが、Aの< >の幹部役員は、理事長、副理事長である。
 (注2) ※の小樽商科大学は公益社団法人、※※の慶応義塾大学は一般財団法人

大学の本部があるメインキャンパス内やその隣接地であるが、筑波大学の場合、筑波移転前の旧東京教育大学の大家キャンパスの本部跡地に設置されており、同志社大学の場合、新島裏が同志社英学校を開校した故地に設置されている。また、小樽商科大学の緑丘会館の場合は、北海道から遠く離れた卒業生の多い東京都心の池袋に設置されており、校友会の事務局も同居している。

① 主な校友会等における校友サロンの設置状況

【表18】は、主な校友会等における校友サロンの設置状況を示している。校友会館の建設までの投資はできないが、校友の集う場所やちょっとした打合せ、ミニ講座を行えるスペースとして大学の施設の一角に校友サロンを設けている校友会等も多いと考えられる。小規模なものが多いので、公表資料だけでは全体を補足できないと考えられるが、ウェブサイトのをとりまとめたもの

【表20】 主な校友会等における支部、登録同窓組織の数

支部等の数	任意団体(組織名)	一般社団法人(組織名)
1000以上	早稲田大学(稲門会)(1,333)	
500~1000	立命館大学(立命会)(711)	慶応義塾大学※※(三田会)(859)
300~500	明治大学(紫紺会)(316)	
200~300	東京大学(赤門会)(297)、上智大学(ソフィア会)(276)、関西学院大学(251)、関西大学(千里会)(247)、中央大学(白門会)(243)、近畿大学(217)、立教大学(立教会)(201)	一橋大学(如水会)(293)、法政大学(217)
100~200	九州大学(198)、日本大学(桜門会)(172)、青山学院大学(145)、東海大学(132)、同志社大学(クローバー倶楽部)(124)、京都大学(109)、北九州市立大学(104)	学習院大学(校友会)(198)、日本女子大学(桜楓会)(173)、神奈川大学(宮陵会)(143)、東京電機大学(電機会)(117)、福岡大学(有信会)(115)
50~100	大阪大学(97)、東京女子大学(90)、広島大学(81)、東洋大学(白山会)(65)、東北大学(萩友会)(63)、龍谷大学(56)、名城大学(55)	筑波大学(茗溪会)(80)、東京工業大学(蔵前工業会)(71)、東京学芸大学(63)、九州工業大学(明専会)(60)
30~50	大阪市立大学(42)、千葉大学(39)、大阪府立大学(39)、金沢大学(34)、横浜国立大学(33)、名古屋大学(31)	奈良女子大学(佐保会)(49)、お茶の水女子大学(桜蔭会)(47)、津田塾大学(33)、名古屋工業大学(名古屋工業会)(32)
30以下	信州大学(29)、神戸大学(26)、首都大学東京(20)、岡山大学(18)、長崎大学(18)、愛媛大学(17)、山形大学(13)、熊本大学(12)、鹿児島大学(12)、琉球大学(12)、新潟大学(11)、弘前大学(9)、山口大学(9)、富山大学(8)、兵庫県立大学(6)、茨城大学(5)	小樽商科大学(緑丘会)※(23)、東京海洋大学(22)、電気通信大学(目黒会)(18)、横浜国立大学(進交会)(13)

【表21】 校友会等における国内支部の数

国内支部数	任意団体(組織名)	一般社団法人(組織名)
300以上	早稲田大学(稲門会)(398)	
200~299	明治大学(紫紺会)(275)	慶応義塾大学※※(三田会)(242)
100~199	立教大学(立教会)(163)、関西大学(千里会)(119)、立命館大学(立命会)(116)、近畿大学(106)、中央大学(白門会)(105)	法政大学(170)、日本女子大学(桜楓会)(166)
50~99	同志社大学(同志社、クローバー会)(96)、関西学院大学(89)、上智大学(ソフィア会)(81)、日本大学(桜門会)(65)、東海大学(63)、東洋大学(白山会)(61)、青山学院大学(56)、東京女子大学(54)、東京大学(赤門会)(50)	一橋大学(如水会)(90)、神奈川大学(宮陵会)(90)、筑波大学(茗溪会)(74)、東京学芸大学(63)、福岡大学(有信会)(61)、九州工業大学(明専会)(59)、学習院大学(校友会)(53)
30~49	北九州市立大学(48)、名城大学(47)、龍谷大学(35)、九州大学(30)	お茶の水女子大学(桜蔭会)(47)、奈良女子大学(佐保会)(47)、東京電機大学(電機会)(47)、東京工業大学(蔵前工業会)(44)
10~29	京都大学(29)、大阪市立大学(27)、東北大学(萩友会)(16)、神戸大学(11)	津田塾大学(25)、小樽商科大学(緑丘会)※(23)、名古屋工業大学(名古屋工業会)(22)、東京海洋大学(16)、電気通信大学(目黒会)(12)、横浜国立大学(進交会)(10)
1~9	琉球大学(7)、首都大学東京(7)、大阪府立大学(4)、新潟大学(3)、金沢大学(3)、名古屋大学(3)、岡山大学(3)、広島大学(3)、熊本大学(3)、鹿児島大学(3)、愛媛大学(2)、信州大学(1)	
0	弘前大学(0)、山形大学(0)、茨城大学(0)、千葉大学(0)、横浜国立大学(0)、富山大学(0)、大阪大学(0)、山口大学(0)、長崎大学(0)、兵庫県立大学(0)	

(注)※の小樽商科大学は公益社団法人、※※の慶応義塾大学は一般社団法人

のである。

② 校友会館に類似した施設等

【表19】は、主な大学における校友会館に類似した施設等の設置状況をまとめたものである。いずれも著名な施設であり、それぞれ一等地にあるため、講演会やコンサート、結婚式等への利用頻度も高く、校友会の所有施設と誤解されているむきもあるが、校友会や同窓会とは別の国立大学法人、学協会又はその関連法人が所有する施設である。

一方、卒業生のうち財界人を中心に集う社交サロンとして、慶應

義塾大学では、(一財)交詢社、東京三田倶楽部、(一社)慶應倶楽部などがある。このうち、東京三田倶楽部、慶應倶楽部は、地域三田会として連合三田会の会員でもある。

⑦ 支部及び登録同窓組織

【表20】は、主な校友会等における支部、登録同窓組織等の数をまとめたものである。登録同窓組織といっても校友会等によって呼称が異なるため分かりづらいが、例えば、慶應連合三田会の場合、

力があがり、会費や事業収入により財政基盤が確立していることから、会員が集う施設の整備が可能となったと考えられる。その多くは、戦災後や近年になって建て替えられた2代目あるいは3代目の施設である。このため、法人格をもった校友会で会館を整備しているものが多い傾向にある一方で、1990年以降に校友会や全学同窓会を結成した大学で校友会館を設置しているのは、愛媛大学だけである。

会館の設置場所は、ほとんどが

【表17】 主な校友会等における校友会館の設置状況

校友会等・名称	校友会館名	所在地
任意団体		
EJAA愛媛大学校友会	校友会館	愛媛県松山市(城北キャンパス内)
東京女子大学同窓会	同窓会館(72年館)	東京都杉並区(大学キャンパス内)
東洋大学校友会	浦水会館	東京都文京区(白山キャンパス隣接地)
日本大学校友会	桜門会館	東京都千代田区(大学本部隣接地)
立教大学校友会	セントポールズ会館	東京都豊島区(池袋キャンパス内)
同志社校友会	新島会館本館・別館	京都市上京区(同志社英学校開校跡地)
関西大学校友会	校友・父母会館(校友会、後援会共同)	吹田市山手町(千里山キャンパス)
一般社団法人等		
筑波大学(一社)茗溪会	茗溪会館	東京都文京区(旧東京教育大学キャンパス隣接地)
お茶の水女子大学(一社)桜蔭会	茗溪会館	東京都文京区(大学キャンパス内)
東京工業大学(一社)蔵前工業会	東工大蔵前会館	東京都目黒区(大岡山キャンパス内)
東京海洋大学(一社)薬水会	薬水会館	東京都港区(品川キャンパス内)
一橋大学(一社)如水会	如水会館	東京都千代田区(旧東京商科大学キャンパス跡)
名古屋工業大学(一社)名古屋工業会	名古屋工業会館	名古屋市昭和区(御器所キャンパス内)
奈良女子大学(一社)佐保会	佐保会館	奈良市北魚屋西町(大学キャンパス内)
横浜国立大学(一社)進交会	進交会館	横浜市中区相生町
(一社)日本女子大学教育文化振興協働会	桜楓1号館・2号館	東京都文京区(白台キャンパス内)
小樽商科大学(公社)緑丘会	緑丘会館	東京都豊島区サンシャイン60(57階)

【表18】 主な校友会等における校友サロンの設置状況

校友会等・名称	校友サロン名	所在地
任意団体		
九州大学同窓会連合会	同窓生サロン	(箱崎キャンパス)旧工学部本館1階南側
大阪府立大学校友会	校友サロン	(南海なんば第1ビル2・3階)大阪府立大学-siteなんば内
青山学院校友会	校友サロン(校友センター内)	(青山キャンパス)アイビーホール青年会館2階
上智大学ソフィア会	ソフィアズクラブ	(四谷キャンパス)12号館1階 特別会議室
中央大学学員会	白門サロン 大阪白門サロン	(駿河台記念館7階)中央大学駿河台キャンパス跡地(関西文化サロン内)大阪市北区阪急グランドビル19階
早稲田大学校友会	校友サロン	(早稲田キャンパス)大隈記念タワー(26号館)15階
立命館大学校友会	校友サロン(衣笠) 校友サロン(びわこ・くさつ) 校友サロン(朱雀)	(衣笠キャンパス)国際平和ミュージアムロビー(びわこ・くさつキャンパス)コアステーション3階ラウンジ(朱雀キャンパス)中川会館(学園本部)6階
龍谷大学校友会	校友サロン	(深草キャンパス)21号館1階(校友会事務局横)
一般社団法人等		
(一社)法政大学校友会	校友談話室、ラウンジ	(市ヶ谷キャンパス)ポアソナード・タワー25・26階

【表19】 校友会館に類似した施設等

大学・名称	施設名	所在地
類似施設		
九州工業大学	明専会館	北九州市戸畑区一枝1-3-60(戸畑キャンパス隣接地)
東海大学	東海大学校友会館	東京都千代田区霞が関3-2-5(霞が関ビル35階)
龍谷大学	龍谷大学響都ホール校友会館	京都市南区東九条西山王町31(パティエ9階(京都駅八条口前))
会員制社交サロン		
慶應義塾大学	(一財)交詢社(1880年創立) 会員:2,264人 東京三田倶楽部(1974年創立) 会員:1,000人 (一社)慶應倶楽部(1921年創立) 会員:413人	東京都中央区銀座6-8-7(交詢ビルディング9階) 東京都千代田区内幸町1-1-1(帝国ホテル本館地下1階) 東京都中央区銀座6-7-16(岩月ビルディング内)
早稲田大学	永楽倶楽部(1915年創立)	東京都千代田区永田町2-12-4(赤坂山王センタービル7階)

多磨霊園墓参



墓参はGPSを持って

クラーク遺徳顕彰・墓参委員会 平田更一 (S44理・植)

墓前での様子

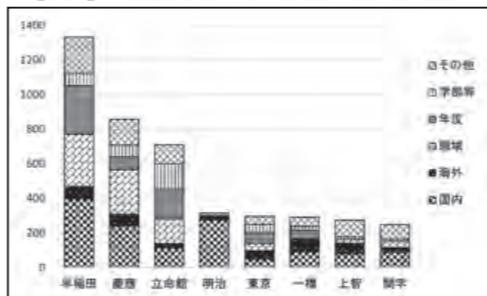
10月16日(日)、秋らしい乾いた青空の下、篠原猛(医S35)、松田昌幸(理S36)、青戸哲二(理S36)、伊藤敦之(医S42)、首藤義明(工S42)、森輝男(工S43)、平田更一(理S44)、福地光男(水S45)、古跡純一(理S47)、坂倉雅夫(農S48)、田中洋行(工S49)、石田恵(歯S50)、奥野滋(法S50)、同夫人、陣谷義直(経S51)、倉田雅博(工S53)、川添公貴(工S56)、栗石雅美(水S56)、浅田清(歯H1)、坂下節子(H26)の20人もの方々が集まった敬称略、数字は卒業年次)。

新渡戸稲造氏の墓前には、東京女子大学同窓会と拓殖大学からのお花があり、他に一般の人の献花もあって賑わいは例年以上であった。20名もの参加者を見ると清掃も早い。墓石への水やりから、落ち葉拾い、雑草の引き抜き、灌木の剪定と内村鑑三氏、有島武郎氏

を使うことを申し合わせて、新たな同窓組織を結成した場合、届出・登録できる仕組みを設けている。主な同窓組織の名称としては、明治大学「紫紺会」、東京大学「赤門会」、一橋大学「如水会」、中央大学「白門会」がある。

同窓組織の登録数では、早稲田大学校友会の「稲門会」が1333と断トツに多く、これに慶應連合三田会の「三田会」が859、立命館大学校友会の「立命会」等が711で続いており、この3大学の組織力が際立っていることが分かる。

【図2】 主要校友会の支部、登録団体



【表22】 校友会等における海外支部の数

海外支部数	任意団体(組織名)	一般社団法人(組織名)
50以上	早稲田大学(稲門会)(71)、上智大学(ソフィア会)(63)、東京大学(赤門会)(50)	一橋大学(如水会)(78)、慶応義塾大学※※(三田会)(67)
20~49	千葉大学(29)、立教大学(立教会)(29)、同志社大学(クローバー倶楽部)(28)、京都大学(27)、関西学院大学(27)、横浜国立大学(26)、明治大学(紫紺会)(26)、立命館大学(立命会)(24)	学習院大学(桜友会)(28)
10~19	青山学院大学(19)、関西大学(千里会)(19)、中央大学(白門会)(17)、広島大学(16)、名古屋大学(15)、東海大学(12)	
5~9	東京女子大学(9)、大阪市立大学(8)、日本大学(桜門会)(8)、東北大学(萩友会)(6)、金沢大学(6)、愛媛大学(6)、大阪大学(5)、神戸大学(5)近畿大学(5)	法政大学(9)、津田塾大学(8)、日本女子大学(桜楓会)(7)、東京海洋大学(6)、電気通信大学(目黒会)(6)、神奈川大学(富陵会)(5)
1~4	龍谷大学(3)、信州大学(2)、熊本大学(2)、九州大学(1)、鹿児島大学(1)、首都大学東京(1)、名城大学(1)	東京工業大学(蔵前工業会)(2)、奈良女子大学(佐保会)(2)、九州工業大学(明専会)(1)、横浜国立大学(進交会)(1)、東京電機大学(電機会)(1)
0	弘前大学(0)、山形大学(0)、茨城大学(0)、新潟大学(0)、富山大学(0)、岡山大学(0)、山口大学(0)、長崎大学(0)、琉球大学(0)、大阪府立大学(0)、兵庫県立大学(0)、北九州市立大学(0)、東洋大学(白山会)(0)	小樽商科大学(緑丘会)※(0)、筑波大学(茗溪会)(0)、お茶の水女子大学(桜蔭会)(0)、東京学芸大学(0)、名古屋工業大学(名古屋工業会)(0)、福岡大学(有信会)(0)

(注)※の小樽商科大学は公益社団法人、※※の慶応義塾大学は一般財団法人

【表21】は、校友会等における国内支部の数を大学別にまとめたものである。上位層は、表20とほぼ同じ顔ぶれであるが、日本女子大学が166もの支部を組織化しているのが注目される。これは、桜楓会が全ての都道府県に加え、首都圏の各地に地域支部を整備し、活動していることによるものである。40~60の支部を設置している校友会等は、ほぼ全国の都道府県に支部を設置しているが、会員規模が数万人以上で卒業生が全国各地に居住している任意団体や一般社団法人化している校友会等は、ほぼこの階層に含まれている。

一方、2000年以降に学部同窓会の連合体としての連合同窓会(いずれも任意団体)を設立した国立大学や近年いくつかの公立大学の合併の際に同窓会も一本化した公立大学では、支部組織は元々の学

④国内支部の設置状況

部同窓会や大学から移行できておらず、これらの校友会等の支部はゼロ又は数ヶ所となっている。

⑤海外支部の設置状況

【表22】は校友会等における海外支部の数を大学別にまとめたものである。近年、国際関係学部の新設、留学生の受入れ増加等に伴い、大学のグローバル展開が大きな流れとなっているが、校友会等の海外支部の設置は、積極グループとそれ以外で対応が大きく別れている。海外支部を50以上設置しているのは、一橋(78)、早稲田(71)、慶應(67)、上智(63)、東京(50)の5校友会等に過ぎず、それ以外は全て30以下となっている。20以上の大学は、全同窓組織と同様、早慶MARCH、関関同立プラス学習院、国立では東大、一橋に千葉、京都、横浜国立となっており、首都圏と近畿圏の主力大学に限られている。

一方、比較的組織体制が整備されたとみなされる一般法人化された校友会等においても、国内支部と大きく対応が異なり、一橋、慶應、学習院以外では、全て一桁かゼロである。

また、国立大学の連合同窓会や公立大学で近年組織を一本化した校友会でも、国内支部と同様、海外支部はゼロ又は数ヶ所となっている。



GPSで記録した墓参の軌跡(古跡さん撮影)

と次々と進む。新渡戸稲造氏の墓前での「都ぞ弥生」の斉唱においては、恵迪寮同窓会の板倉東日本支部長の音頭取りも実にスムーズであった。

毎年墓参の最終は廣井勇氏と決まっているが、毎年のように墓所を探してウロウロする。いつものように迷いながら到着し、清掃の途中に隣の墓所について、「北大の四代目総長今裕氏の夫人の家系のお墓であり、以前廣井氏のお墓を修理した時、家族とお会いした。時々廣井さんの墓所をも清掃してくれたとのことです」と簡単な説明を入れたところ、北大との縁ということで、こちらのお墓も清掃を始めた。

皆さんの義理堅さに感謝した次第だ。

墓参を終えて

十和田市と十和田市新渡戸記念館の間の訴訟問題は、詳細な情報が入ってこない。9月には、新渡

戸記念館が地域博物館シンポジウム「新渡戸稲造の精神をどう活かすか」新渡戸記念館の現状と未来への挑戦」を都内で開催したが、残念ながら具体的な内容については入手していない。早急な解決を願うのみである。

午後、恒例のビールで喉を潤

し、ジンギスカンを楽しんだ。写真は、墓参の軌跡を記録した古跡さんの画像である。

毎年、廣井勇氏の墓所を探してウロウロしていたものが、この記録を見ると一目瞭然だ。スバリ!「墓参はGPSを持って」



北海道大学陸上競技部 東京OB会(東京羊蹄会) — 永遠のアスリート —



北大陸上競技部OB
片桐 牧雄

(S45工・電気卒)

2016年の7大戦は東京大学が当番校であったことから陸上競技も大井のスポーツの森陸上競技場で開催され、勿論、応援に多くの仲間と一緒に参加した。7大戦の応援は札幌開催と東京開催に限って参加しているが、私の現役時代に比べ競技部員数と女子学生の多さにびっくりすると同時に髪の毛の色の多様さにも驚かされてしまう。今年の戦績は残念ながらBクラスで終わったが、現役の活躍があつてのOB会でもあるので、現役の人たちには一層の奮起を期待したい。また、OB会としても、現役への応援と物心にわたる支援も継続し、その輪を広げていきたいと願っている。

北大陸上部の始まり

日本の陸上競技の始まりは、明治7年に行われた海軍兵学校(のちの海軍兵学校)競闘遊戯会であると言われている。
日本の大学の第一人者である東京大学において、日本の陸上競技クラブとして最古の歴史を引き継ぐと言っている東京大学陸上運動部は、明治20年に活動を開始しており、2008年に120周年記

東京羊蹄会の始まり

東京羊蹄会の設立は、昭和47年、佐藤さんから要請されたことに基づきかけとなった。
陸上競技部のOBが一番多くいる東京にはOB会として組織化されたものがないことを指摘され、

ンから東京羊蹄会がスタートしたといえる。
その後、東京羊蹄会長は細谷哲郎(昭和13年卒)さん、森谷功(昭和26年卒)さん、片桐へと引き継がれ、幹事役は片桐から神野(昭和49年卒)、東江(昭和52年卒)、長部(昭和56年卒)、堀(昭和56年卒)、そして島村(平成6年卒)、川瀬(平成8年卒)へと引き継がれている。

東京羊蹄会の駅伝参加

昭和50年ごろから、飲み会だけではなく、一緒に走ろうではないかとの意見が出て「昼間は走ろう、夜には飲み会」が始まった。その後、競技者魂に火が付き、奥多摩駅伝の参加、平成2年ごろからはBクラスの人でも参加できる横浜駅伝を見つけ参加し始めた。メンバーの核は同期で長距離出身の興津(昭和45年卒)を筆頭に10人、20人と徐々に参加者が増え、最近ではOGの参加も加わり、12月の奥多摩駅伝の日と、4月29日の横浜駅伝の日に合わせて東京羊蹄会を行うことになり現在に至っている。

前にも癌により逝去したのは悲しみと共に返す返すも残念でたまらない。彼の陸上競技に対する情熱は仲間により継承されることを願っている。東江の後任として藤田(昭和57年卒)が引き受け監督の労を担っている。
こうした役割の継承が競技部ならではの仲間意識と思いやりと求心力となっている。
3才で始めたスキーを皮切りに、小学校、中学校の時代は、夏は野球、冬はスキーに明け暮れるスポーツ少年だった。
高校時代(江別高校)には個人種目に興味が出て陸上部に入り3段跳びをしていたが、13メートルそこそこの選手だった。当時、監督が渡辺隆(昭和31年北大陸上部卒)先生で、2年生の時、北大陸上部と対抗戦があり、江別高校は総合点で勝つほどだった。
北大に入ってから陸上部に導かれたのも渡辺先生の影響によるもので、陸上人生は先生との出会いによって決まったと言える。
大学に入ってから棒高跳びを始め、跳躍パートとして記録に挑んだが怪我に悩まされた競技生活であった。入学時には棒高跳びの専門者がいなく、太い竹ポールが

我がアスリート人生

何本かあるのみで、早速、竹ポールを買出しに行かされることになった。何とそれは竹竿屋さんからの買い出しで、すずき野まで行かなければならない、しかも帰りは電車には乗せてもらえず、すずき野から北18条のグラウンドまで担いで帰る羽目となった。懐かしい思い出である。
北大も漸くグラスファイバーを2年になってから1本購入してくれたものも何とこのポール70kgの人も使える固いポールで当時58kgの自分には最後まで使いこなせなかった。
今にして思うとポールの影響で記録が伸びなかったのだった。4年になって何のきっかけか忘れたが、母校の江別高校のグラウンドで柔らかな



七大戦準優勝に輝いた北大チーム(1989年(昭和44年)7月26日 札幌円山競技場にて)

その以降の試合にも借りられ、結局4年最後の年の秋に行われた江別での試合で出した記録3メートル60センチが自己ベストとなった。当時部記録が3メートル70センチで部記録を破ることが出来なかったがアスリートとしての挑戦がその後の自分を形成していると思っている。

社会人になってからは、テニスに高じ、冬はスキーと相変わらずスポーツを趣味にした生活を続けることができた。40才前には人並みにゴルフを始め、これも地方勤務の際に興味の域を超え、スキー、ゴルフと陸上部仲間とは年に数回顔合わせの付き合いをしている。

10数年前に先輩から東京羊蹄会会長は飲み会だけでなく、駅伝にも参加すべしとの激が出た。1年かけて練習を積んだ。横浜駅伝の最小区間でも3キロあり、しっかりと練習をしなければ襷を渡せないことになるとの覚悟で、何とか18分は切れるところまで目途が付き参

加を決めた。その後、この年にしては年々記録が縮まり15分台まで来ていたが、昨年の暮れにスキーで転倒しアキレス腱断裂となり今年の参加はあきらめた。来年は飲み会の開始を伸ばしてしまいかもしれないがカムバックしたいと願っている。



北海道大学陸上競技部東京OB会(東京羊蹄会)
(2016年(平成28年)7月31日 銀座ライオンにて)

歳久人の北大あるある



イラスト©高野葵(H25環境科学院)

北大OG会活動報告 10月29日@府中・東京競馬場 「マイフェアレディの世界 リターンズ2016」を開催

Q:「北大東京同窓会OG会の人気企画、「マイフェアレディの世界リターンズ2016」競馬観戦会が開催された2016年10月29日、北海道と縁の深いニュースがありました。それは一体何でしょうか？」

A:「プロ野球日本シリーズ第6戦で、北海道日本ハムファイターズが10年ぶり3度目の日本一に輝いた」

「はい、正解です! (注・筆者はファイターズファンです) 多くの北海道民ならびに関係者が注目するその日、奇しくも私たち北大OG会一堂に会し、親睦を深めました。場所は府中・東京競馬場。元JRA役員である佐藤浩二様のご尽力により、招待客しか入室できない8階ダイバーリウムでの観戦となりました。ダイバーリウムは全面禁煙、ドレスコードあり、飲食持ち込み禁止といった「大人」の空間。ヨーロッパで競馬をたしなむ紳士淑女



8階バルコニーからの光景

さながら、OGも正装に身を包み、全12レースに臨みました。第一レースの直前にはJRAスタッフによる初心者向けのレクチャーを実施。今回で3回目の参加となるM・Sさんは、「今回でやっと馬券の記入の仕方がわかった」と、晴れやかな表情を見せていました。

10時15分、第一レース出走! 全力疾走する馬の群れが近づいてくると、胸の高鳴りとともにスタンドに響く声援も大きくなっていきます。バルコニーに出てレースを

見守るOGも真剣です。そして、あつという間にゴールを迎え、次のレースに向けて再びダイバーリウムへ。勝った人も負けた人も、静かに戦果を受け止めていました。皆さん、大人なのです。けれども、勝負魂には火がついたようです。各テーブルを見渡すと、会話も忘れて競馬新聞を熟読する人、今朝の占いで目にしたラッキーカラーに賭ける人、「今日は見るだけと思っていたけど、買わずにいられない」と突然ハマる人、オッズを見ながら「これじゃ儲からないなあ」とポツリつぶやく人、景気づけにとビールを注文する人など。皆さん、結構気合いが入っていました。ちなみに筆者は皆さんの結果に終わっておりません。聞かないでください。今回は一人一人自己紹介をする時間もとれず、ひたすらレース観戦&予想にいそしむ形となりましたが、皆さん楽しんでいただけただけではないでしょうか。午後には甘〜いケーキセットで一息つくO



全レース終了後、参加者の皆さんで。翌日は天皇賞でした。



中根 里香 (H5・文)

Gの姿も目立ちました。こういったところは、やはり「女子会」。最終レース後の記念撮影では皆さん素敵な笑顔でした。最後に、競馬解説&撮影をしてくださった今村智朗様(OG会幹事・今村美佳子さん)のご主人です、ご協力ありがとうございました!

蝶たちの冬越し



エゾシロチョウの越冬巣

す。こんな中、蝶たちはどう感じて冬を乗り切ろうとしているのでしょうか。

蝶の一生は卵、幼虫、蛹という段階(ステージ)を経て成虫になりますが、種によってどの段階で冬越しをするか決まっています。北海道に生息する蝶は116種ほどですが、そのうち幼虫で冬越しをするのが意外にも一番多く4割ほど、次が卵、蛹、成虫の順になります。幼虫といえはイモムシ毛虫の類、極寒の状況ではすぐ凍死してしまいそうに思えますが、巧みな越冬戦略を持っていることがわかってきました。北大低温研の朝比奈英三先生の、エゾシロチョウの耐寒性に関する研究は有名ですので、少し紹介します。朝比奈先生は、自宅の庭のボケの木に毎年幼虫がつくので実験材料には困らなかつたと書かれております(朝比奈英三「虫たちの越冬戦略」が、エゾシロチョウは北海道特産種で庭の桜や果樹のリンゴやナシに発生し、幼虫の集団は木を丸裸にし、

成虫は初夏にフワフワと飛び回ります。越冬幼虫は集団生活を送っていますが、落葉前に葉を寄せ集めた巣を枝先に括り付け、



越冬するコムラサキ幼虫(矢印)

中に糸を吐いて個室を作り集団で冬を越します。いくら葉を重ねた巣の中にも暖かいとはいえず、外気温まで体は冷やされるはずですが、なぜ凍ってしまわないかの戦略はいろいろあるようです。まず幼虫の体の中にグリセリンという不凍液をつくっていくことがわかりました。車のエンジンの不凍液と同じ仕組みです。また細胞外凍結といって細胞の大切なところ以外で氷の結晶をつくらせて被害を免れるという仕組みもあるようです。これらの戦略でマイナス30℃でも大丈夫なようです。タテハチョウの仲間にもコムラサキという蝶がいます。翅には見る角度によって美しく紫色に光る鱗粉をまとっています。食樹はヤナギ類なので各地で普通に見られ

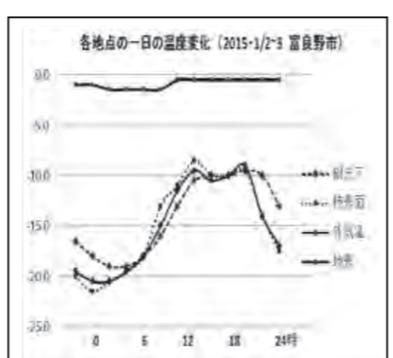
る蝶です。この幼虫も食樹の枝で越冬します。しかもエゾシロチョウのような巣も作らずに枝の又のところにべたっと張り付いたまま冬越しします。写真はマイナス25℃くらいに冷え込んだ時の幼虫です。よく見ると幼虫の体の表面に空気中の水蒸気が凍りついた霜がついています。この幼虫も春になると元気に動きだし冬芽から伸びた若葉をかじりだしました。体の中に相当強い凍結に対する仕組みが備わっているのでしょう。

一方コムラサキの兄貴分オオムラサキの場合はどうでしょう。日本の国蝶として威厳を満ちたその美麗な姿は、子供向けの図鑑や学習帳の表紙にたびたび登場するのでご存知の方も多いと思います。北海道では食樹のエノキの分布が少なく、札幌市や栗山町などにごく限られた分布をしています。札幌では円山公園や藻岩山、八剣山など市民に親しまれている場所になぜかよく見られます。さて蝶の冬越しの話ですが、このオオムラサキも幼虫越冬ですが、寒風にひ

今年の冬は各地で、何十年ぶりとか観測始まって以来とかのペーすで雪が降り始めているようです。札幌では12月上旬に市電のサラ電車も動けなくなる65cmものどか雪に見舞われました。旭川では10月19日に根雪という道内観測記録更新となりました。北海道の冬、積雪は当たり前ですし、日中でも氷点下の真冬日には慣れているのですが、ちよつと今年はいきなりで不意を突かれた感じがしま



雪の下のオオヒカゲの幼虫



問題は、地面で冬越しをする幼虫たちにとつては早く雪が降ってくれないかと願っているようです。

私の住む富良野はもうすでにマイナス20℃以下を記録しました。野山や畑はすっかり純白の雪が降り積もっています。

越冬幼虫の気持ちに沿って考えると、このふわふわの雪はなんだか暖かく感じました。今年の早い根雪は蝶たちにとつては恵みの雪だったといえるのかもしれない。私もそう考えて一冬過ごすことに決めました。

たすら耐えるエゾシロチョウたちとは少し違います。夏に母蝶が産んだ卵が孵化し、幼虫は食樹のエノキの葉を食べ育ちますが、成虫まで大きくなる前に落葉の秋が来てしまいます。そこで幼虫は葉から枝を伝い太い幹を地面に向かつて下りはじめます。大きさは3センチくらいで葉を食べていた時は緑色だった体色も灰色にかわってきます。地面に降りた幼虫は、上から降り積もったエノキの枯葉の中に潜り込みます。そしてこの枯葉の布団の中で、飲み食いせず冬を越します。そして来春、エノキの葉が芽吹くころ冬眠から目をさました幼虫はまた幹を登って、体を緑色に戻して葉を食べて育ちます。樹から下りたり登ったりと大変ですがそれは地面の雪の下は



枯葉の中のオオムラサキ越冬幼虫

越冬場所として最適な環境のように、幼虫越冬するほとんどの種類はここで越冬します。とくにイネ科やササを食うジャノメチョウやセセリチョウの仲間は食草と共に雪の下で冬越しをします。

枝先と雪の下ではどれくらい気温の差があるのか、富良野で小型の温度記録計(データロガー)で一冬記録してみたところ、想像以上に雪の保温効果があることがわかりました。図はマイナス20℃以下に冷え込んだ日のグラフですが、雪の下は0℃をキープしています。雪の保温効果は絶大でこれならば、真冬日が長く続いても幼虫は凍死することなく冬越しすることができそうです。

しかし凍死する幼虫もいることもわかってきました。この温度記録装置はクローバーの生える地面に置いたのですが、そのクロー



雪に覆われた厳冬の野山



永盛 俊行 (昭52理・地質)

〈著者プロフィール〉
昭和53年より夕張北高校、富良野高校など道内の高校で理科教師を歴任。科学クラブ顧問として、富良野の自然環境をテーマにした研究活動を指導。日本学生科学賞4回。「富良野の自然に親しむ会」主宰。
平成15年、19年、文部科学省「その道の達人」事業講師として全国の子どもたちに「昆虫の採集・観察法」を伝える。日本蝶類学会等に論文多数。
共著に「北海道の蝶」(北海道新聞社)、「完全北海道蝶類図鑑」(北海道大学出版会)など。

2017年(平成29年)
寒中お見舞い
申し上げます。

北大東京同窓会
役員一同・事務局
会長 杉江 和男 (工・45・工学研究・修)

納谷 峻徳
(工・38・冶金)

東京電力ホールディングス株式会社
取締役会長
數土 文夫
(工・39・冶金)

古河電気工業株式会社
相談役
石原 廣司
(工・40・電子)

石山 喬
(工・42・冶金)

株式会社グローバルリサーチ
チーフコンサルタント
岡 隆次郎
(工・42・冶金)

新潟医療福祉大学
教授
戸島 知之
(工・42・電子)

北大スキー部OB会 東京支部
支部長
坂谷 諦
(工・43・冶金)

梅原ビルディング株式会社
代表
梅原 誠一郎
(工・44・冶金修)

コムシホールディングス株式会社
代表取締役社長
高島 元
(工・47・工学研究・電子・修)

日本コムシス株式会社
代表取締役会長
伊東 則昭
(工・52・電子修)

有限会社ケースオフィス
代表取締役
川添 公貴
(工・56・応化)

フジオゼックス株式会社
代表取締役社長
深谷 研悟
(工・49・金属)

日鉄住金テックスエンジニアリング株式会社
代表取締役社長
升光 法行
(工・54・金属修)

株式会社NTTファシリティーズ
代表取締役副社長
川越 祐司
(工・57・電子修)

株式会社NTTロジスコ
常務取締役第一営業本部長
小野 喜世彦
(工・49・電子)

株式会社東芝
執行役常務
安達 竹美
(工・55・電子修)

工学部同窓会 東京支部長
味の素株式会社 取締役専務執行役員
富士 博司
(工・57・合化修)

株式会社フジクラ
上席常務執行役員
成瀬 秀夫
(工・52・電気)

JFE環境株式会社
代表取締役社長
櫻井 雅昭
(工・56・金属)

尾瀬沿畔長蔵小屋
尾瀬ヶ原第一長蔵小屋
代表取締役
平野 太郎
(工・H3・衛生)

北海道大学東京同窓会
会長
杉江 和男
(工・45・工学研究修)

JFEエンジニアリング株式会社
相談役
岸本 純幸
(工・45・冶金修)

はまなす会
(北大工学部機械工学科 東京同窓会)
顧問
仲 裕
(工・47・機)

(総合建設コンサルタント)
セントラルコンサルタント株式会社
代表取締役会長
馬場 直俊
(工・47・土木)

株式会社ジャパンテクノカルソフトウェア
代表取締役会長
山口 正雄
(理・35)

北水同窓会
東京支部一同
樋口 達夫 (水・50・食・修)
細見 典男 (水・48・食)
菅原 謙二 (水・51・漁業)

日本水産株式会社
代表取締役社長 執行役員
細見 典男
(水・48・食)

東京フラテ会

会長 松谷 有希雄 (医・50)

社会医療法人 財団大和会 武蔵村山病院

院長 高橋 毅 (医・54)

国際医療福祉大学

副学長
松谷 有希雄

(医・50)

〔一般財団法人〕LIFESS 代表理事
ダクワリ動物病院 総合院長
コロンブス州立獣医科 大学客員教授 日本親善大使 (2012) (3)
千葉科学大学 客員教授
ダクワリ動物病院 東京医療センター
東京都港区白金5-1-4 TEL:03-5442-0002
ダクワリ動物病院 代々木
東京都渋谷区富ヶ谷1-3-0 TEL:03-5561-0002
ダクワリ動物病院 久我山
東京都杉並区久我山3-7-2 TEL:03-6363-4355 (02)
TEL:03-6363-4355 (02)

daktari
加藤 元

(獣・31)

北大歯学部同窓会 関東支部
支部長
横田 秀一

(歯・60)



新日本相撲甚句会

理事 師範代
野呂 忠一

(業・39)

東日本旅客鉄道株式会社

顧問
松田 昌士

(法・36)

笹田 琢夫

(法・36)

佐藤 尚夫

(法・44)

官民競争入札等監理委員会委員
公益財団法人交通協力会
常務理事

石堂 正信

(法・44)

公益社団法人北海道倶楽部

理事・事務局長
DG株式会社
代表取締役
本間 修

(法・45)

株式会社ぶらう

代表取締役
石川 裕一

(法・54)

株式会社町村農場

代表取締役
町村 均

(法・60)

JFEスチール株式会社

理事 薄板営業部長
堀江 亮介

(法・61)

株式会社サクセスボード

代表取締役社長
萱野 聡

(法・62)

中部大学

経営情報学部 経営情報学科
教授
早野 利人

(経・44・経済)

北海道大学法学部同窓会

会長
向井 諭

(法・50)

北海道大学経済学部 東京同窓会

会長
陣谷 義直

(経・51・経済)

一般社団法人 札幌農学同窓会

東京支部 役員一同

理事長 松沢 幸一 (農・46・農化)
副理事長 梶谷 辰哉 (農・50・林学)
副理事長 櫻田 巧 (農・58・農経)

公益社団法人国土緑化推進機構

専務理事
梶谷 辰哉

(農・50・林学)

中外製薬株式会社

代表取締役社長
小坂 達朗

(農・51・農化)

北海道大学法学部同窓会

副会長 兼 事務局長
高橋 了

(法・47)

経済学部経済学科

S57年(富科E)卒
佐々木 俊夫

(経・57・経済)

株式会社デイリーテクノ

代表取締役社長 農学博士
富田 守

(農・36・畜産)

北海道大学大学院法学研究科

研究科長・法学部長
加藤 智章

佐々木 豊実

(農・35・林学)

一般社団法人緑の循環認証会議

瀬川 宗生

(農・48・林学)

月島食品工業株式会社

代表取締役社長
戸田 信之

(農・51・農化)

共栄火災海上保険株式会社

常務取締役
櫻田 巧

(農・58・農経)

(株)ブライダルは
北海道大学東京同窓会の
皆様の「結婚」を応援します。



結婚

39年の実績

(株)ブライダルは今まで法人福利厚生、官公庁、各大学会報誌などで、数多くの方々の結婚のお世話をさせて頂いております。少子化問題にも『結婚』という形で社会に貢献できる企業を目指しており、女性会員も多いブライダルでは(男女比4:6)賛同を得て「北海道大コース」を設立致しました。この会報誌「FRONTIER」を見たとおっしゃってくだされば、会員の皆様はもとより、ご家族の方でも特別に、「結婚」を特典付(登録料100%OFF)にてお世話させていただきます。

北海道大コース 登録料 **100%OFF**

ブライダルコース
¥226,800 ▶ ¥194,400 etc.

エクセレントコース
¥388,800 ▶ ¥356,400 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

株式会社ブライダルの詳しい情報はホームページをご覧ください。
詳しくは(株)ブライダルと検索してください。

(株)ブライダル

検索

お問い合わせ
(月曜定休)



0120-415-412

PC・スマートフォン
携帯サイト

http://www.bridal-vip.co.jp
http://www.bridal-vip.net/m/



右のQRコードにて携帯サイトにアクセスできます。(一部対応しない機種がございます。)

1978年創業
株式会社 **ブライダル**

東京本社 〒163-0528 東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル28F
Network / 東京・横浜・湘南・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

新入会員

(平成28年7月、敬称略)
高橋良佳(医H16)、小松弘嗣(理S57)、柴田遼(経H18)、後藤淳子(法S56)、土屋努(法S59)、矢原芳博(獣医S59)、森山敏彦(工S63)、吉田可保里(工H08)、三國秀美(経H01)、齋藤真姫子(教S61)、船津康次(文S56)、露木英明(薬S61)、林真寛(総化院H25)、西川明里(医H28)、泉谷千夏(農H22)、池田雄二(法H18)、児玉歩美(文H25)、長田直久(理H10)、奥山祐輝(工修H26)、我妻孝則(医修H25)、吉成純(法H29)、浅野克彦(工H10)、中村恵一(経S57)

三晃堂三井印店

代表

三井 晃一

(農・H1・農学)

北大スキー部OB会東京支部 幹事
北大東京同窓会 広報委員長
札幌農学同窓会 東京支部 組織委員長
全日本学生スキー連盟 広報部長

高橋 寛

(農・62・農機)

携帯：090-3234-5816

総会・講演会・懇親会のお知らせ

東京同窓会

日にち：平成29年6月3日(土)
場所：日本倶楽部(千代田区丸の内3-1-1 国際ビル8F)
※詳細はWEB(hokudai-tokyo.org)をご覧ください。
※東京同窓会会員には総会案内を送付致します。
同封のハガキにてご返信をよろしくお願い致します。



札幌農学同窓会東京支部総会

日時：平成29年2月24日(金) 受付：17時15分より
場所：学生会館2F 202号室
問い合わせ先：高橋(携帯090-3234-5816)
※詳細は「北大東京同窓会」で検索し、「札幌農学同窓会」よりご覧ください。

【総会】 開会18時より
【講演会】 18時30分より約1時間
講師：北海道大学大学院農学研究院 副研究院長
教授 柳村俊介先生
演題：「北海道農業の次世代継承」
【懇親会】 講演会終了後より開催、閉会21時

応用マテリアル工学コース同窓会

旧)材料工学科・旧)金属工学科
旧)冶金工学科・旧)生産冶金工学科

日時：平成29年3月14日(火)18時~20時
場所：ピアホール ライオン銀座7丁目(6階)
※昨年と同じ場所です。
問い合わせ先：mikito@eng.hokudai.ac.jp
同窓会総務担当 上田幹人

北大スキー部OB会東京支部

新OB・OG歓迎会

日時：平成29年5月20日(土)13時より
場所：北大東京ジンパ会場内(選定中)

草刈り寮歌祭

問い合わせ先：竹下忠彦(昭和53年入寮)
自宅042-728-9923 携帯090-8100-1038
E-Mail:akadake@kch.biglobe.ne.jp

日時：平成29年8月11日(金・祝)10時より
場所：芝公園「開拓使仮学校跡地」石碑前集合
交通：都営三田線「御成門駅」下車2分
持参物：草刈り鎌、軍手、可燃ごみ袋、タオル、帽子など

学部、学科、部、サークルなどの同窓生の活動情報をお寄せください。フロンティアにて紹介させていただきます。
次号は8月発行になりますので、秋・冬の予告にご利用ください。

北海道大学の近況

(2017年春)

北海道大学総務部広報課

3つの国際大学院の設置が認可

8月26日(金)、文部科学省より、医理工学院、国際感染症学院、及び国際食資源学院の設置が認可されました。これらの学院は、総長直轄の教育研究組織である国際連携研究教育局(GI-CORE)に置かれており、量子医理工学グローバルステーション、人獣共通感染症グローバルステーション、及び食水資源グローバルステーションにおける国際連携研究・教育の成果を、大学院教育へと発展させていきます。



医理工学院



国際感染症学院



国際食資源学院

力学から発展した放射線物理学、または生体の分子挙動に関する理工学を医学に応用できる研究者、技術者を養成します。

国際感染症学院は、エボラウイルス病等の人獣共通感染症に関する高度な専門知識と問題解決のための幅広い見識を備え、我が国のみならず世界の感染症研究の発展並びに感染症の制圧に寄与できる次世代のリーダーを育成します。

国際食資源学院は、地球規模で拡大する様々な食資源問題に対し、具体的な解決策を提示し実践できる、行動力・融合力・組織力・基礎的な問題解決力を備えた国際的リーダーとなる人材を養成

これらの学院は、平成29年4月の設置に向け、学生募集活動を開始する等、より本格的な設置準備を進めることとしており、本学の強み・特色を活かした国際連携研究及び教育を推進することが期待されています。

(総務企画部企画課)

総合博物館 リニューアルオープン

総合博物館は、耐震改修工事に伴い平成27年4月1日から公開を休止していましたが、7月26日(火)にリニューアルオープンしました。

この度のリニューアルでは、札幌農学校時代から蓄積された膨大な標本・資料とその研究成果を紹介する展示を充実させました。また、全12学部の教育研究といくつかの部局の先進的な研究を紹介する展示「北大のいま」、標本を五感で体験していただく「感じる展示室」、研究者や博物館ボランティアのバックヤードでの活動を垣間見ていただく「ミュージアムラボ」を新設しました。他にも、多目的スペースやラウンジ、ミュージアムショップやカフェからなる「知の交差点」エリアも新設しました。

した。夏季(6月10日)の金曜日は午後9時まで開館することとし、これまで以上に市民に親しまれる博物館を目指します。

リニューアルオープン当日は

爽やかな夏空に恵まれ、開館前から多くの方々に並んでいただきました。午前10時の開館時には、ミュージアムマイスターの目下葵さん(理学院修士1年)が歓迎のスピーチを行い、14名の学生が来館者を館内へと順次ご案内しました。学生は大学院の授業「博物館コミュニケーション特論」の受講生で、各自の専門分野を活かし、この日のために特別な展示解説ツアーを企画・実施し、様々な年代の来館者と博物館をつなぐ役割を果たしました。また、ボランティア



博物館前でのテープカット
(左から、川端理事・副学長、小泉初代館長、石森北海道博物館長、山口総長、中川館長)



内覧会の様子

アによるポプラチエンバロコンサートは満席になる盛況ぶりでした。

午後からは理学部大講堂にて、リニューアルオープン記念式典を行いました。協賛企業の皆様や学内関係者が参加する中、総合博物館の中川光弘館長の式辞の後、山口佳三総長から挨拶があり、来賓の北海道博物館の石森秀三館長、総合博物館の小泉格初代館長から祝辞を賜りました。続いて、江田真毅講師より総合博物館リニューアルの概要について説明を行いました。



リニューアルオープンを
心待ちにする来館者



記念式典での山口総長による挨拶

その後、総合博物館正面玄関前に移動し、石森北海道博物館長、小泉初代館長、山口総長、川端和重理事・副学長、中川館長によるテープカットを行い、続く内覧会では館内各

泥炭地回復庁(インドネシア)との 連携協定を締結

8月10日(水)、インドネシアの泥炭地回復庁と連携協定の調印が行われました。この協定は、熱帯泥炭研究に実践的な業績のある本学と京都大学及び総合地球環境学研究所が、同庁をはじめ、同国の教育研究機関と共同研究や人材交流を推進していく目的で締結されたものです。泥炭地回復庁は、昨年12月にパリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締結国会議(COP21)において、ジョト・ウィドド大統領がインドネシアに広がる



大統領官邸の閣議室にて



調印式後の記念写真

る低湿泥炭地の荒廃・火災による二酸化炭素放出の削減を表明したことを受け、1月に大統領府に設立された組織です。

調印式は、インドネシア大統領官邸(ムルデカ宮殿「Istana Merdeka」)の閣議室において、Nazir Foead 泥炭地回復庁長官



修了証書の授与

講義をお届けしました。また今回は、全学教育の一般教育演習（フレッシュマンセミナー）と連動する形で、総合教育部の1年生23人が、各回講義の冒頭、交代で舞台上に立つて講師紹介を行う実習も新たに試み、受講者の方々にも好評をいただきました。

各回の講義終了後には受講者から熱心な質問が寄せられ、生涯学習に対する意欲の高さが感じられました。

最終講義の終了後には閉講式が行われ、全8回中6回以上出席した72名の受講者に修了証書が授与されました。

（学務部学務企画課）

イノベーション・ジャパン 2016」出展

8月25日（木）・26日（金）の2日間、国立研究開発法人科学技術振興機構（STI）及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が主催となり、イノベーション・ジャパン2016が東京ビッグサイトにて開催されました。

イノベーション・ジャパンは、大学の研究シーズと産業界の技術ニーズを結びつける国内最大のマッチングイベントであり、今回で13回目の開催となります。400件を超える大学等の研究成果が一同に集結し、「超スマート社会」「情報通信」「環境保全・浄化」「ライフサイエンス」「低炭素・エネルギー」「医療」「マテリアル・リサイクル」「装置・デバイス」「シニアライフ（高齢社会）」「ナノテクノロジー」「防災」の11分野に分けて展示されました。

各ブースとも企業関係者や研究機関関係者が数多く訪れ、展示内容について熱心に質問し、意見交換を行いました。終日、人の流れは途切れることなく、本学の最先端の研究成果を産業界に広くアピール出来た2日間でした。

（研究推進部産学連携課）

【本学出展の11テーマ】

- ・情報科学研究科 教授 杉本雅則
【情報通信】「スマホでここまでできる～音響測位と可視光通信の世界」
- ・先端生命科学研究院 准教授 比能洋
【超スマート社会】「糖鎖情報の解読・利用技術—グライコム分析・合成・集積・利用技術—」
- ・工学研究院 教授 向井紳
【ナノテクノロジー】「新規手法による1D・2D・3Dカーボンの高効率製造」
- ・工学研究院 教授 米澤徹
【ナノテクノロジー】「低温焼結性銅微粒子システム」
- ・工学研究院 准教授 戸谷剛
【低炭素・エネルギー】「フィルタを用いない波長制御赤外線ヒーター」
- ・工学研究院 助教 石田晃彦
【装置・デバイス】「実験室から持ち出せる超軽量・超小型液体クロマトグラフ」
- ・電子科学研究所 教授 太田裕道
【装置・デバイス】「電気抵抗と磁化の両方で記憶する新メモリー」
- ・電子科学研究所 助教 大友康平
【ライフサイエンス】「「イメージング」は、「ひやくぶんはいつけんにしかず」と読む」
- ・遺伝子病制御研究所 講師 上村大輔
【医療】「創薬に繋がる新しい炎症誘導機構と神経刺激による制御」
- ・北方生物圏フィールド科学センター 教授 宮下和士
【ライフサイエンス】「見えないものを視る～計測機器を用いた水中生物の可視化～」
- ・高等教育推進機構 特任助教 成瀬延康
【装置・デバイス】「スマートフォン向け安価小型分光器」



ブースの様子①



ブースの様子②



調印式の様子



調印式後の記念撮影

理学院では、9月26日（月）にベトナム科学技術院数学研究所とのダブル・デイグリー・プログラムに関する覚書を締結しました。

理学部応接室で執り行われた調印式には、ベトナム科学技術院数学研究所から局長（director）の Le Tuan Hoa 教授が、本学院からは鈴木行理学院長をはじめ3名が出席しました。

本学とベトナム科学技術院数学研究所は、既に部局間交流協定を締結していますが、博士課程における相

理学院がベトナム科学技術院数学研究所とダブル・デイグリー・プログラムに関する覚書を締結

稲葉カヨ京都大学副学長、安成哲三総合地球環境学研究所長、本学の甲山隆司教授（総長代理出席）及び4機関関係者に加え、Tetan Masuzuki インドネシア大統領府官房長官、Bambang Setiadi 国家研究評議会議長、在インドネシア日本国大使館関係者の列席のもと、執り行われました。

インドネシアの低湿地では、泥炭湿地林の枯死材由来の木質泥炭が厚く堆積し、莫大な量の有機態

炭素が蓄えられていますが、近年の熱帯林伐採と乱開発が地下水位の低下や泥炭層の乾燥化、さらには火災による泥炭消失を招いており、それらに付随する諸問題が喫緊の解決すべき課題となつています。今後は、本協定に基づいて、泥炭地生態系の再湿地化、植生復元、そして在来種を利用した持続的資源管理に向けた作業を協同で進めていくこととなります。

（国際本部国際連携課）

互協力、教育研究交流を促進させるためにダブル・デイグリー・プログラムに関する覚書を締結したものです。

この覚書に基づき、今後、両部局間における学生交流が活発に行われることが期待されます。

（理学院・理学研究院・理学部）

平成28年度 北海道大学公開講座

「国のかたち」を案ずる時代の知恵」が終了

7月4日（月）から25日（月）まで、本年度の公開講座（全学企画）を開催しました。

戦後70年の節目を機に、安全保障や憲法の問題をはじめとして「国のかたち」が多くの人の思案と議論の的となる時代を迎える中、将来の日本の姿を構想する鍵となる諸課題について、8人の講師が、自然災害や、急速な高齢化の中での医療・創薬、経済格差と教育、戦後民主主義の思想とその今日的意義、IT・ロボットによる新たな農業の姿、海洋生物資源の保全、観光立国の可能性と課題、リサイクルのあり方といった多岐にわたるテーマについて、各講師の長年の研究成果をふまえた

【各回の講義題目と講師】

- 第1回「自然災害は予測できるか」（農学研究院 特任教授 丸谷知己）
- 第2回「高齢化社会と創薬」（薬学研究院 准教授 堺谷政弘）
- 第3回「現代日本における子育てとお金」（教育学研究院 准教授 鳥山まどか）
- 第4回「戦後民主主義の思想と冷戦終焉後の変容」（法学研究科 教授 権左武志）
- 第5回「IT・ロボット技術が支える新しい農業の姿」（農学研究院 教授 野口伸）
- 第6回「海洋生物資源を理解して上手につきあう」（北方生物圏フィールド科学センター 教授 宮下和士）
- 第7回「観光が作り変えるこの国のかたち」（メディア・コミュニケーション研究院 准教授 岡本亮輔）
- 第8回「よいリサイクルかどうかの見分け方」（工学研究院 教授 松藤敏彦）



受講風景

北海道大学東京同窓会 入会申込書

ホームページからの申し込みも可能です。「北大東京同窓会」で検索してください。

[FAX]03-3211-9288

フリガナ 氏名	
学 士	学部	学科
	卒業年 (昭和・平成)	年卒業
修 士	(研究科・院)	専攻
	卒業年 (昭和・平成)	年卒業
博 士	(研究科・院)	専攻
	卒業年 (昭和・平成)	年卒業
自宅住所	〒()	
	電話:	FAX:
	(携帯・スマホ)	
	E-mail:	(PC)
勤務先 所属・役職 勤務先住所	
	〒()	
	電話:	FAX:
	E-mail:	
<p>【優先連絡先E-mailアドレスの指定】 ・ご自宅、勤務先にE-mailアドレスをお持ちの場合、優先連絡先の方に○印をつけてください。</p> <p>【優先 発送物宛先の指定】 自宅・勤務先いずれか優先する方に○印をつけてください。</p> <p>【会費納入方法】 ・入会申込受領後、会費案内をお届けしますので郵便振替または銀行振込にてお支払いください。</p>		

国際連携研究教育局(GICORE)量子医理工学グローバル ステーションが第3回医学物理サマースクールを開催

GICORE量子医理工学グローバルステーションは、スタンフォード大学放射線腫瘍学と合同で、8月22日(月)から26日(金)まで、国際本部中講義室及び陽子線治療センターを会場とし、第3回GICORE医学物理サマースクールを開催しました。

今年で3度目となるサマースクールには例年よりも格段に多い49名の応募があり、厳正な書類選考の結果、米国、中国、ドイツ、韓国、ベトナム、タイ、バングラデシュ、ネパール、ガーナ、パキスタン、ナイジェリア、ラトビア、日本から19名が参加しました。

また、本学医学研究科、工學院、保健科学院、病院、情報基盤センターからの講師に加え、スタンフォード大学、カリフォルニア大学(UCLA)、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所、名古屋陽子線治療センター、株式会社日立製作所から多彩な講師陣を迎え、陽子線治療装置を使った実習に加え、アイソトープ総合センターでの画像誘導放射線治療(ICRT)実習も組み込む等、例年よりも臨床研修



講師及び参加者一同

(国際連携研究教育局)

を強化した内容のカリキュラムでの実施となりました。受講者からは、理論と実習を網羅した包括的なコース内容に対して大変高い評価を得ると共に、講義後のアンケート調査実施により来年度に向けての改善点も確認することができました。なお、本サマースクール実施によって培われてきた多様なバックグラウンドを持つ国内外からの学生受入及び教育にかかる経験・知識を活かし、平成29年4月に開設される医理工学院でも世界各国からの優秀な学生を受け入れる予定です。

丘珠に 新植物工場完成



株式会社Jファーム

株式会社Jファームは、スマートアグリシステムを採用した植物工場で、トマトを栽培しています。丘珠の新工場では、4月から高糖度ミニトマト出荷に向けて社員一同、心を込めて準備を進めています。



JFE エンジニアリング 株式会社 <http://www.jfe-eng.co.jp>

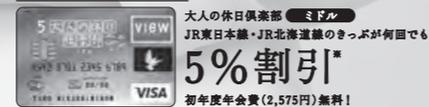
東京本社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-1 (丸の内トラストタワーN館19階) Tel.03-6212-0800 Fax.03-6212-0802
 横浜本社 〒230-8611 神奈川県横浜市鶴見区末広町2-1 Tel.045-505-7435 Fax.045-505-8902

大人はずっと旅の途中。



50歳からの旅に、この一枚。
大人の休日倶楽部カード。

◎満50歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ミドル**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
5%割引*
初年度年会費(2,575円)無料!

◎男性満65歳以上、女性満60歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **シニア**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
30%割引*
年会費:個人会員4,285円・夫婦会員7,320円
ご夫婦の場合、どちらかが満65歳以上なら、お二人そろって夫婦会員としてご入会いただけます。
※発売箇所・利用期間等に制限があります。

- 特典1 JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも5%・30%割引^{※1}に。
- 特典2 「大人の休日倶楽部バス」など会員限定の割引きっぷや、旅行商品など会員だけのおトクがいろいろ。
- 特典3 「びゅう国内旅行商品(個人型)」「ツインクル国内旅行商品(個人型)」が何回でも5%割引^{※1}に。
- 特典4 楽しい時間を、楽しい仲間とごいっしょに。「趣味の会」にご参加いただけます。
- 特典5 使うほど貯まるポイント^{※2}は、Suicaに入金(チャージ)したり、素敵な商品と交換できます。
- 特典6 Suicaとしてご利用いただけます。

※1 発売箇所・対象商品・利用期間等に制限があります。 ※2 利用額に応じて、ビュー・サンクスポイントが貯まります。

大人になったら、したいこと。



詳しくはJR東日本・JR北海道の主な駅にあるリーフレットまたは入会申込書をご覧ください。大人の休日倶楽部 [検索](#) ※記載の情報は2017年1月現在のものです。

新社会人歓迎

北大東京ジンパ 2017



日にち:平成29年5月20日(土)

—会場は選定中—

詳しくはホームページで

北大東京ジンパ

検索



新社会人になったら、東京ジンパに参加しよう!
これだけ大勢の仲間はきっと役に立つぜ!



新社会人は
参加費1,000円
飲み放題!!

お問合せ:北大東京同窓会事務局

TEL.03-3211-9211 www.hokudai-tokyo.org

北海道の花

絵と文 鮫島 惇一郎

何となく気忙しかった北国の春が往つてしまうと、いよいよ野山は待ち兼ねたように緑の季節を迎える。あまたの樹々たちが林床のカタクリ、エゾエンゴサク、イチゲなど、彼らにたつぷりと陽の光をまです与え、頃合を見て己れたちのために葉を思う存分掀げはじめ。毎年のことながら自然の上手な仕組みに感心させられる。共生の理に適っている。



サクラソウ

六月であった。日高路の鶴川、富川、門別あたりのカシワ林では、もうサクラソウの花が開いたのではないかと落ち着かなくなる。聞けば、最近鶴川に土地の人たちが造り上げたサクラソウの植栽地があるという。それではそこへ行ってみようとかけることになった。カシワを主体にしたこの防風林は、「鶴川・まちの森」と名づけられていた。

砂地に造られた遊歩道には凸凹がないからたいへん歩きやすい。今を盛りと競い合うサクラソウの群生地にはすぐに出会えた。見事としか言いようがない盛大な歓迎であった。

もう造成時からかなりの時が過ぎたのだろうか、新しい株が周辺に散在して花を付けているのは、うまい具合に種が飛び散っている所為だと勝手に決めてしまふ。

サクラソウを見ながらふと思いついたことがある。もう七十年ほど昔のことになる。札幌祭りが近付く頃、実験室で腊葉標本を整理しながら話しているうちに、「鶴川や富川あたりのカシワ林で、もうそろそろサクラソウの蕾があがってくる時だべ？あれさ掘り取って祭りの夜店で売ったらどうだ：銭んこになるべさ：」

では誰たちが、何時、どの列車でとかなり話は煮詰まっていたようであったがどうだったのか。多くの学生が程度の差こそあれ生活に困窮していた時代であった。

しかし何故か懐かしい。

(昭25理・植)

編集後記

■本日1月28日(土)は虎ノ門の島田副委員長のニューオフィスで冬号の完成に取り組んでおります。理系、文系、体育会、同好会、文科系サークル、グローバル展開、女性活躍推進と幅広いネタをお届けします。寄稿者の皆様に心よりお礼申し上げます。東京同窓会のみならず、学部・学科・恵迪寮・クラブ等の総会等イベントも告知したいと思えます。5/20(土)は東京ジンプです！今年には700人を超えるでしょうか。皆で新社人と新総長を歓迎致しましょう。友たれ永く友たれ。

(高橋寛)

FRONTIER 北海道大学 北海道同窓会 会報
 第50号 2017年(平成29年)2月10日発行

発行所：北海道大学東京同窓会
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12
 サビアタワー10階
 ☎03-3211-9211 ☎03-3211-9288

Eメール hokudaic@poppy.ocn.ne.jp
 H P http://www.hokudai-tokyo.org/

発行人 杉江 和男
 編集人 高橋 寛 島田 久 川添 公貴 延兼 千代
 高野 葵 青山 千穂 堀井 靖代 中井 啓之
 陣谷 義直 八谷 俊雄

